第８号

Fairy Paradise

2009/2

今月のフェアリー詰将棋

- 第７回WFPフェアリー作品展
- OFM 第 144 回出題
- 推理将棋19回出題
-

結果発表

- 第６回WFPフェアリー作品展
- 推理将棋18回・新春出題解説
- Fairy of the Forest#18
- OFM 第 143 回出題

読み物

- Fairy Top Ⅸ2008投票結果
-

はじめに

家の前から四国山脈を見ることが出来るが雪景色となることが今年の冬は少ない。暖冬なのだろうか。ちなみに私はコートを持っていない。

それにしても私の家は新居浜駅のすぐ近くだが、写真のように閑散としている。遊ぶ所も少ないので詰将棋をするには最適な場所と言えるかも。やや自虐的ですが。

今月号はフェアリー作品展担当の紅月氏の都合により発行がやや遅れることになり、楽しみにされていた方々にはご迷惑をおかけしました。２月は２８日しかなかったりして作品展の解答期間が短くなってしまいますが、幸いなことに今月は出題が３作と少なく、何とかなりそうでしょう。

今月号の目玉は何と言ってもFairy Top Ⅸ 2008の投票結果発表です。各部門予想通りの作品が選ばれたかどうか・・・皆さんの目でお確かめ下さい。１ptでも入った作品は全て評と共に載せております。

出来ればもう少し投票者数を増やしたかったところでありますが、この辺は来年への宿題としていろいろな面での改善をしていきたいと考えております。

ご意見がありましたらどんどんメールして頂けると嬉しいです。見ているだけも楽しいですが参加するということはもっと楽しいと思います。

神無太郎氏「ｘ４ｃｃはいかに改装されたか第２回」は都合により今月はお休みします。

【 募　集 】

作品

フェアリー作品、 PG 、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことでも研究物でも４コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト１０、自己紹介、何でも OK です。ページが埋まれば私は嬉しい？読者サロンのような感じで送っていただければと思います。

感想

第８号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

＊ご協力感謝します

妖精都市
http://www.geocities.jp/cavesfairy/

詰将棋メモ
http://toybox.tea-nifty.com/

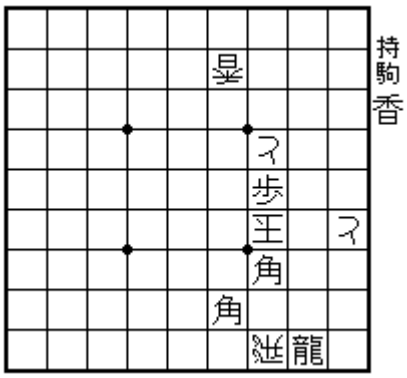
詰将棋おもちゃ箱
http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/

Onsite Fairy Mate
http://www.abz.jp/~k7ro/

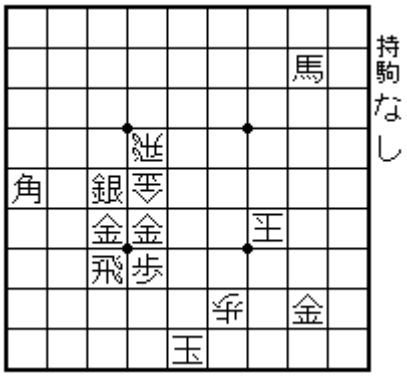
第 7 回 WFP 作品展　担当　紅月花煉

[作品投稿要項]
1) 作品投稿は随時受け付けています
2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします
[解答要項]
解答締切：平成21年 3 月15日
本作品展は、正式発表とし TOP Ⅸの対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい
作品投稿及び解答は
webfairyparadise_you@yahoo.co.jp
にお願いします
余詰・近況報告は
http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/
で行っています。確認の上、解答下さい
【入選回数一覧】
たくぼん氏： 12,13 回
神無七郎氏： 7 回
ルール説明
【協力詰】
先後協力して最短手数で受方玉を詰ます
【強欲】
攻方、受方とも、駒取りの手があるときは、駒を取らない手を禁手とする。駒取りの手がなければ、駒を取らない手は有効
【安南】
味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる
【最悪詰】
攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。千日手は許容するものとする
【前節】
今回は僅かに 3 題という結果です。解答期間が何時もより少し短いのでちょうど良いかもしれませんが
今月号は TopIX の発表がありページ数もかなりの物になる事が予想されるのでこちらはこの位のボリュームが良いのかもしれません
今月も解いていません。これからゆっくり解きます。難易度は…不明です。多くの解答お待ちしています

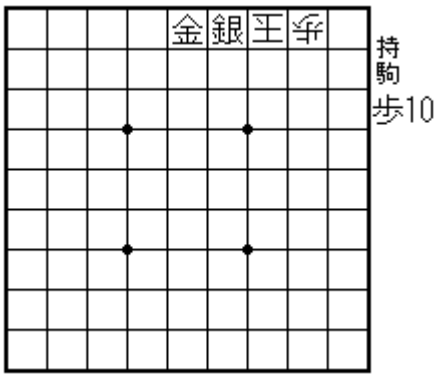
第 1 番　たくぼん氏作　安南協力詰 5 手 C+



第 2 番　たくぼん氏作　最悪詰35手
「万有引力」　C+(8手目以降)



第 3 番　神無七郎氏作　強欲協力詰　57 手 C+



詰 将 棋 メ モ

推 理 将 棋 第 19 回 出 題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第１８回出題です。はじめての方は
どんな将棋だったの？　- 推理将棋入門
（http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html）をごらんください。

解答、感想はメールで２００９年２月２０日までに TETSU まで（ omochabako@nifty.com ）
メールの題名は「推理将棋第１９回解答」でお願いします。
全解答者から抽選で１名に賞品リスト
(http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/tenji/shohin.htm)からどれでも一つご希望のものをプレゼント！

推理将棋第１９回出題

担当　タラパパ

３題すべて未発表の新作です。検討の甘い担当としては怖くもありますが　(^^;
初中級のお二人は１月に続く連続登場、たくぼんさんの「オーメンⅢ」の謎とは？

19-1　初級　はらたっと作
秘密の外周ＳＨＯＷ　　10 手
余計な駒を取らずに外周だけで攻められる駒といえば？
19-2　中級　渡辺秀行作
４段目の駒打　　９手
４段目に打って力を発揮する駒は「アレ」ですが平凡ではありません
19-3　上級　たくぼん作
オーメンⅢ？　　10 手
６手目に 66 飛は不可能ですが、作意も 666 と無関係ではないかも？

19-1　初級　はらたっと作　秘密の外周ＳＨＯＷ　　10 手

「さっきの隣の将棋はあっけなかったね。」
「 10 手で終わったヤツだろ。後手は将棋盤の外周の着手しかなかったのに最後は持ち駒なしでピッタリ詰んじゃった。」
「先手は安い駒から動かしているからダメなのかな？」

（条件）
- 10 手で詰み
- 後手の着手は外周のみ（１筋、９筋、１段目、９段目）
- 最後は持ち駒なし
- 先手は価値の安い駒から順に動かした（安い順：歩香桂銀金角飛玉）

19-2　中級　渡辺秀行作　４段目の駒打　９手

「快勝だ！９手で詰ませたよ。４手目の玉をうまくとがめたよ。」
「それ以降は９筋の手はなかったみたいだね。」
「うん。４段目に駒を打つ手が６筋以外で２回あったよ。」

（条件）
- ９手で詰んだ
- ４段目に駒を打つ手が６筋以外で２回あった
- ４手目の玉以降９筋の手はなかった

※「それ以降は９筋の手はなかった」は、それ以前にあったことを保証しておりません。

19-3　上級　たくぼん作　オーメンⅢ？ 10 手

「たくぼんさんの初手歩突きで始まった将棋どうなったの？」
「不成の手は２回で、 10 手で負けたんだって・・・相変わらず弱いなあ」
「途中で 66 飛に『オーメン！』って叫んでだけど・・・」
「でも６手目じゃなかったんで関係なかったって笑ってたよ」

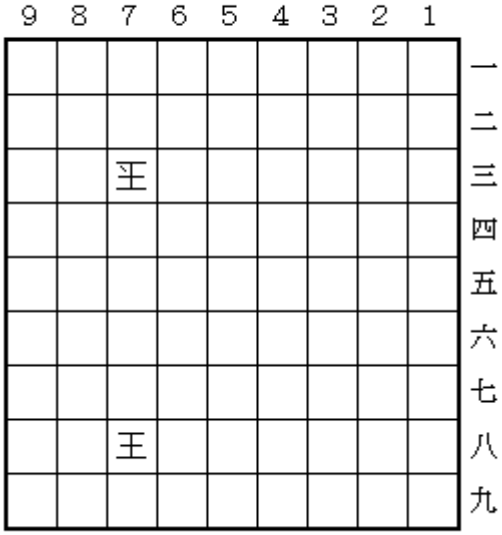
（条件）
- 10 手で詰んだ
- 初手は歩
- 不成が２回
- 66 飛という手があった

Onsite Fairy Mate　第 144 回出題

開催日　　：2009 年　2 月　8 日（日）
解答締切　：2009 年　3 月　7 日（土）
解答発表　：2009 年　3 月　8 日（日）

小林看空 氏作

Isardam協力自玉詰 8手



持駒 飛角

【ルール　説明】

Isardam（タイプＡ）

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。
成駒と生駒は別の駒として区別する。
以上の条件は王手の概念にも適用され、玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。

協力自玉詰（＝ばか自殺詰）

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

本作の解答を E-mail で管理人まで送ってください。（janacek789@ybb.ne.jp）

【本サイトへのメールについて】

解答や感想など、本サイトにメールを送っていただくときに、メールの件名に次の単語のうち一つ以上を入れるようにしてください。
「OFM」（小文字でも可）、「解答」、「感想」これらの単語を件名に含むメールが迷惑メール扱いされないよう設定しました。確実にメールが届くよう、ご協力をお願いします。

【コメント】

今回の出題は第 141 回でも出題した Isardam です。とは言っても、今回の Isardam は前回と異なり、Isardam の設定が王手に優先するという過激な方の Isardam です。
（前回の Isardam は「タイプＢ」という穏やかな方の Isardam でした。）
このサイトでこのルールの作品を出題するのは、実質的には初めてですので、ルールに慣れて戴くための特設ページを用意しました。

Isardam 作品の紹介

（http://www.abz.jp/~k7ro/misc/Isardam-Kankuh.html）

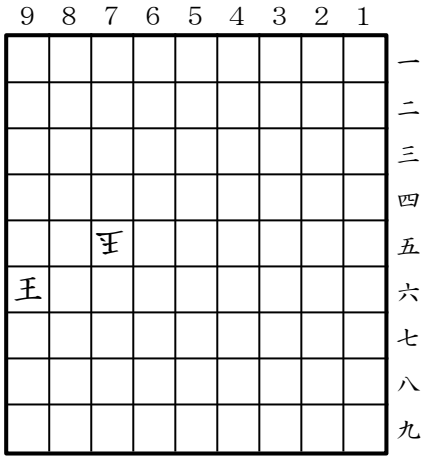
こちらに看空氏の Isardam 作品（いずれも 1996 年に Online Fairy Mate に発表されたもの）を紹介していますので、本作の解図の前にぜひご一読ください。解答募集期間も通常より長く 4 週間としていますので、じっくりと取り組めると思います。この作品、おそらく一度見たら一生忘れられないような詰上りだと思います。

担当　神無七郎

【Isardam 作品の紹介より 1 作紹介】

小林看空作 / OnFM / 1996/2/25

Isardam ばか自殺詰　4 手



持駒 角

84 角　97 角　93 角成　86 角成　まで　4 手

Isardam 独特の受けですが、「成駒と生駒を区別する」という Isardam の特徴がよく出ている手順です。例えば、初手に 93 角と打つと 97 角が受けになりません。なぜなら 97 角は 75 角生を防いでいますが、 75 角成は防いでいないからです。（七郎氏解説より）

第 6 回 WFP 作品展結果　担当　紅月花煉

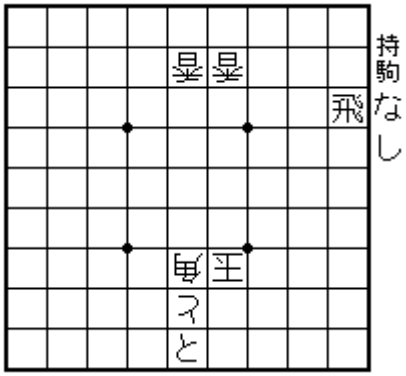
【初めに】

今回は私事の為にWFP発刊に影響を与えてしまい申し訳ありませんでした。今後はなるべく避けたいと思います。次回に前年の解答成績を発表したいと思います

【解答成績】

解答者：４名
全題正解者：４名
新規解答の隅の老人Ｂ氏でした。今後も宜しくお願いします
何時もは、かなり分散して原稿を書いていますが、今回は時間が２日しかないという……時間がない中での原稿作成が此処迄大変とは思いませんでした

第１番　シン氏作　アンチキルケ協力詰７手



【作意】

17飛生　38 玉　57 飛 /28 飛　39 玉　84 角　48 と　49と　迄 7手

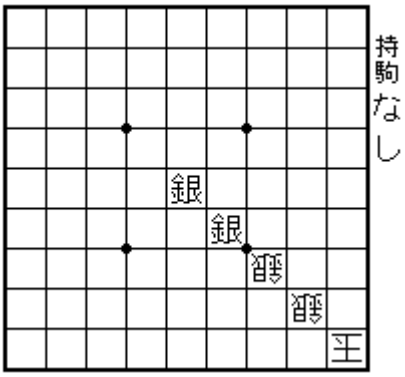
【作者コメント】
不成をわかりにくくするにはどうしたらいいのか、試してみたもの。これでは失敗ですね。とにかく入門編ということで。香配置が辛い。

【担当コメント】
不成の意味付けは、成れば攻方の効きが強くなり過ぎて39に逃げる事が出来なくなるという非常に単純な物です。見えにくい手順ではないと思いますが最終２手が見えないと意外に困るかもしれません。香２枚の配置が少し残念と言えば残念ですが仕方ないのでしょう

【短評】

たくぼん氏
　これは結構時間がかかりました。詰型がパッと見えないし、43飛成～32龍～21龍がそれらしく見えたので。57角の存在意味を考えて何とか解けました
神無七郎氏
　少し紛れに誘われましたが、やはり51に利かせたいということで、角の入手に行き着きまし　た。今までのシン氏作と比べると地味？
隅の老人Ｂ氏
　取るに取れれぬ魚屋の猫。さあ、取ってご覧と大見得を切る
雲海氏
　不成に限定打に移動合と盛り沢山な内容

第２番　たくぼん氏作　Messigny 協力詰９手



【作意】

28銀 /55 銀　18 玉　27 銀　28 玉　37 銀　17 玉　28銀　同銀 /55 銀　18 銀打　迄 9手

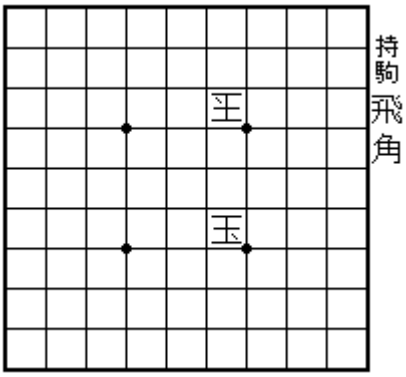
【作者コメント】
Messigny ばか詰作品展は投稿も無いので終了してこちらへ…ちょっとした初心者用パズルです

【担当コメント】
斜一線の初形が綺麗です

【短評】

たくぼん氏
　まあ初形だけでしょうね
神無七郎氏
　これはまあ形を楽しむ作ですね。次は金版の縦一線か横一線でしょうか？
隅の老人Ｂ氏
　一つの発見？いいえ、立派な創作、完成品。取ったり、交換したり。ああ、ややこし。
雲海氏
　実はMessignyを初めて解きましたが、５手目の時に交換と駒取りの選択ができることに気づき、魅力を感じました

第３番　雲海氏　アンチキルケ協力自玉詰10手



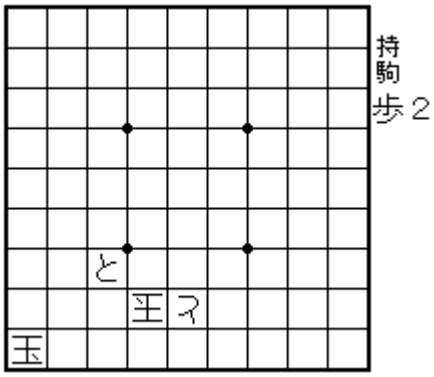
【作意】
16角　54 玉　59 飛　57 飛　27 角　65 玉　69 飛　68角　38 角　47 飛成　迄　10 手

【作者コメント】
詰め上がりからの逆算です。当初の目的は飛角のバッテリーを合駒で発生させることでしたが、それだけでなく望外にも双裸玉になってしまいました。前例作、類作が心配ですが。優しくもなく、易しくない（と思います）作品ですが、よろしくお願いします

【担当者コメント】
何もない所から飛角のバッテリー構築→両王手の詰上がりになります。この形から限定手順で出来るのだから完璧でしょう
ところで、神無七郎氏の短評によるとこの図はもず氏（未発表）が４年前に見つけていたみたいですね（詳しくは神無氏短評で）。氏とのバッティングとは今後の作品が楽しみです

【短評】
たくぼん氏
　アンチキルケ式両王手が見事。これが双裸玉で表現できるとは完璧でしょう
神無七郎氏
　最初は無理やり包囲網を作ろうとして苦戦。両王手の詰上りを発見したときは思わず快哉を……のはずだったのですが、妙な既視感がありました。実は、これと全く同じ図をもず氏に見せて貰ったことがありました。2005年６月のことです。これだけ素晴らしい作品ですから、当然正式発表されるだろうということで、
「アンチキルケ作例集」
http://www.abz.jp/~k7ro/book/AntiCirceStudies/index.htm
　にも収録していなかったのですが、その後なぜか正式発表はありませんでした。もちろん正式発表は雲海氏が最初ですし、この図は今後も「雲海氏作」として残すべきだと思います。ただ、個人的には初めてみた図ではないので、感想を書くのはとても難しいです
隅の老人Ｂ氏
　見事に決まった両王手。考え疲れた、それでも万歳！初手の発見に何日？それを言うと愚痴になる
雲海氏
　拙作。双裸玉の基本「合駒→玉の移動→合駒の移動」です。アンチキルケらしさが詰め上がりのときしかないのが寂しいですが

第４番　たくぼん氏　協力自玉詰26手



【作意】

67と　78 玉　68 と　87 玉　78 と　76 玉　87 と　67玉　68 歩　同と　77 と　57 玉　67 と　58 玉

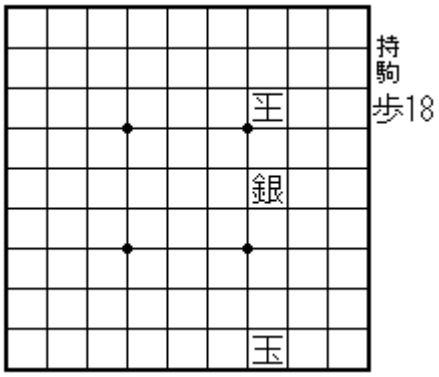
57と　59 玉　58 と　69 玉　59 と　78 玉　69 と
87玉　78 と　同と　88 歩　同と　迄　26 手

【作者コメント】
とんびがくるりと輪を描いたという感じです。できれば九州Ｇに送りたい対子図式ですがばか自殺詰ですので残念

【担当者コメント】
何もない空間での１回転と、と金周囲の１回転。特に前者の一見無駄に見える手順が面白い作品だと思います

【短評】
たくぼん氏
一度解けても手順を忘れてしまう・・・そんな作品です
神無七郎氏
手数の無駄にしか見えない序盤の１回転が面白い。収束から先に考えると易しいですが、こういう何もなさそうな構図にちょっとしたトリックが隠れている作品は大好きです
隅の老人Ｂ氏
これは詰上がり図の想定が出来る。あとは、王との楽しい散歩。町内一周、少し草臥れた
雲海氏
第１感は78とでしたが、あっさり手数オーバー。67とでしたか…

第５番　神無七郎氏　強欲協力詰59手



【 作意 】

34歩　23 玉　24 歩　14 玉　15 歩　同玉　26 銀
24玉　25 歩　34 玉　35歩　45 玉　46 歩　同玉
37銀　35 玉　36 歩　25 玉　26 歩　16 玉　17歩
同玉　28 銀　26 玉　17 銀　36 玉　37 歩　同玉
28銀　47 玉　48歩　36 玉　37 歩　26 玉　27 歩
16玉　17 歩　25 玉　26 歩　同玉　27銀　37 玉
38銀　36 玉　47 銀　26 玉　27 歩　17 玉　18 歩
同玉　19歩　27 玉　28 歩　37 玉　38 銀　26 玉
27銀　17 玉　18 歩　迄　59 手

【作者コメント】
第５回WFP作品展の強欲協力詰（たくぼん氏作）に感銘を受けたのでその収束に出てきた筋を元に趣向作を作ってみました。趣向手順は簡単ですが収束がちょっと難しいかもしれません

【担当者コメント】
時間の都合上趣向部分の発見迄しか行っていないのですが問題はその後の収束部分で、相当難しかったようです。趣向部分は歩を２枚紐付きで並べて置く事で銀を取らせないようにするという非常にシンプルな仕組みで出来ています

【短評】
たくぼん氏
24手目17銀に思い至るまで四苦八苦。最後は伝家の宝刀の逆算法で解いてしまいました。上手いものです。完全に強欲詰は簡単の概念を吹き飛ばしてしまいましたね
隅の老人Ｂ氏
先ずは王銀歩で最終図を考える。これがなかなか思いつかない。突き歩詰、恐れ入りました。６段目までは、なんとなくでしたが、それから先は長かった。持駒歩が１８枚、もっと多くても良いよ、と七郎さんの声
雲海氏
前半の趣向部分は楽に見つけられましたが、17銀の発見からが大変でした。詰め上がりを想定して何とか解けました。

【総評】
たくぼん氏
推理将棋・ PG の投稿もお願いしたいですね。（えっ私・・・がんばります）
神無七郎氏
もう既にシーズンが始まっているのですが、今はまだ軽い…そう、花粉症の季節です。きっと次の号が出る頃には半病人状態だと思いますので、難しい作が来ないよう祈っています

Fairy of the Forest #18

■ 2008年 11 月 01 日： 課題発表：対子図式（協力詰）
■ 2008年 01 月 15 日： 投稿締切
■ 2009年 01 月 18 日： 出題
■ 2009年 02 月 15 日： 解答締切
■ 2009年 02 月 18 日： 結果発表

■ 結果発表

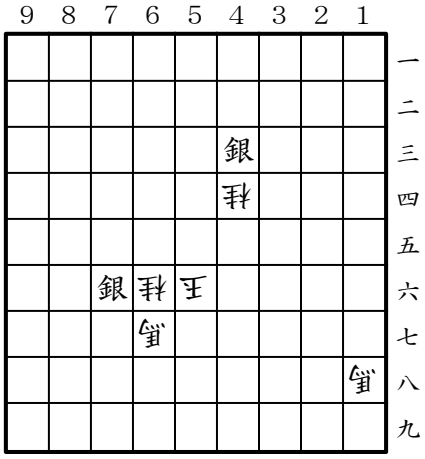
隅の老人Ｂ－暇に任せて、皆さんのＨＰを彷徨。たくぼんさんで、 Fairy of the Forest #18 を発見です。

今回から WFP に移管したことがあまり広まっていなかったみたいですね。でもまぁ、元々広まっていないし（自虐）・・・。継続していけばそのうち定着していくのではないかと、楽観的に考えています。
そんな中、雲海さんが初解答。これは嬉しかったです。

【今回の解答者】
（敬称略、到着順、○は全題正解者）
○神無七郎、○隅の老人Ｂ、○たくぼん、
○雲海

酒井博久

■ 18-01 赤土陽一 協力詰６手（受先）
「帰省」



持駒 なし

54 馬 65 銀 45 玉 54 銀生 55 玉
64 角 まで６手

赤土（作者）－この詰め上がりを作ってみたかっただけです。不動駒も２／７と多く、偶数手詰において、駒を取るのがワンテンポ遅れるところが唯一の取り柄か。

隅の老人Ｂ－初手に気が付けば、簡単。口で言うのは、易しいけれど。

☆易しいのはともかく、毎回狙いを持って作られている点はよいと思います。

雲海－玉が都に戻るから「帰省」？ 確かに王様は田舎生まれではないか。

☆この作者の場合、作品そのものよりタイトルの意味がより難解なことが多いようです。
今回の作者の原稿にはタイトルの意味ははっきりとは書かれていないのですが、再投稿（本図は最初の投稿図を改良されたもの）の際のコメント中に「（前図は）玉に他の駒が集まってくる感じがあまり出ていませんでした」という表現があったので、王様が家来を引き連れて帰京するイメージがあったのではないかと推測されます。

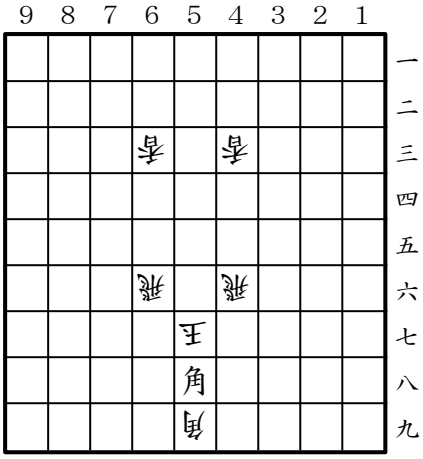
神無七郎－「帰省」はお正月の出題を意識しての命名でしょうか？
55 玉から出発して「ミニ・父帰る」にする手もあったかも。

☆そのほうが詰上りがより強調されるように思います。赤土さん、ご一考ください。

たくぼん－ 18 馬は余りにも遠い。 36 か 45 角位の方が 67 馬を取る紛れが生きる気がします。

☆この意見ももっともなのですが、 18 馬と遠くに置いたのは上記のような作者の意図が関係しているのでは？

■　18-02　　たくぼん　協力詰８手（受先）



持駒 桂2

67 金　49 桂　56 玉　48 桂　同飛生
67 角　47 玉　37 金　まで８手

たくぼん（作者）－形だけと言われそうですね。

☆次の 03 もそうですが、対子図式と対称形というのは相性がいいんでしょうかね。

隅の老人Ｂ－持駒桂２枚じゃ８手で詰まない。何か落ちてないかな。そうだ、質駒を作ろう。

☆質駒を作るのは、受先協力詰の基本手筋の一つですね。問題はその質駒が何かですが・・・。

神無七郎－協力詰用格言「金は自らのトドメに」。受先形式の協力詰を作ろうとすると、初手金打で余詰むことが多いので
この初手は分かり易かったです。

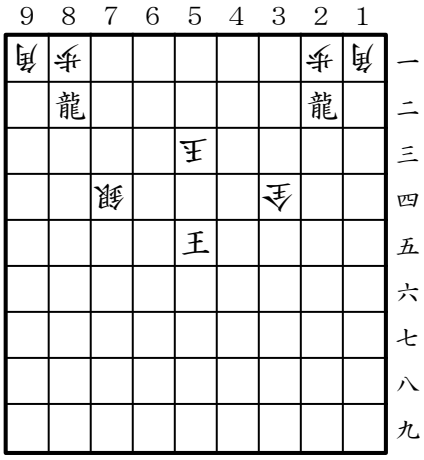
雲海－飛をとるのかと思いきや、やっぱり金でしたか。

☆やはり金はトドメの駒として最も使いやすいようです。手順のほうは受方飛生も入っていますが、ちょっと薄味？

たくぼん（作者）－67(47)飛の紛れが成生非限定となるのがねえ。１段上げると余詰ですし・・・。

☆１段上げると、初手66(46)飛でも詰んでしまいます。つまり、 66 飛以下、 48 桂、 55 玉、 66 角、 46 玉、 36 飛、 47 玉、39(59)桂までです。
最後の桂馬が打ててしまうんですね。残念。

■　18-03　　小林看空　協力詰 17 手



持駒 なし

73 龍　63 銀　33 龍　52 玉　82 龍
72 銀　22 龍　63 玉　33 龍　74 玉
44 龍　64 香　84 龍　63 玉　64 龍左
52 玉　53 香　まで 17 手

小林看空（作者）－簡単な仕掛けですが・・・。

☆受方の２枚角で攻方の２枚龍がピンされていますので、攻方はいかに受角の利きをくぐり抜けるかがポイントになります。

たくぼん－成生の違いで逃げ道が作れるかが決まる。楽しく解図できる好作。香合限定も見事。

☆ 74 銀を移動させてそこに玉が行き、それから 64 香合 ── これが手品のタネでした。と、筋書きだけ書けば簡単なんですがね。

雲海－最後も左右対称形だといいなあ、と思いましたが、さすがに高望みですね。

神無七郎－３段目以内でカタをつけようとして少し悩みました。
　初手は右か左かで迷いましたが、解けた後で

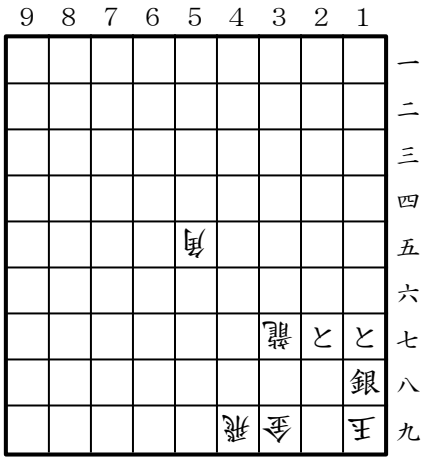
考えると左右対称の方が良かったように思います。

☆確かに完全対称形にしてもよかったですね。初手迷わせる意味は、そう大きい要素ではないように思いますし。

隅の老人Ｂ－根気と暇、七郎さんじゃないけれど、これも執念。竜と角の攻防戦。闇雲流、ここにあり。

☆七郎さんがどこかで「執念」と言っていましたかね？　「闇雲流」は強腕解答者の流儀でしょうか。

■　18-04　　神無七郎　協力詰 25 手



持駒 角金銀

28 銀　同龍　29 金　同龍　46 角
37 金　同角　28 龍　29 金　同金
28 角　同金　39 飛　29 角　同飛
同金　46 角　37 飛　同角　28 金
同角　同角生　39 飛　同角生　29 金
まで 25 手

神無七郎（作者）－課題に合う作ができなかったので、ちょっとインチキをして（ 27 と・17 との配置）対子ということにしました。

☆普通だったら金２枚にする所ですか。「イオニゼーション」の原図の「自陣と金」をちょっと思い出しました。

雲海－普段、合駒調べは面倒ですが、これは楽しく感じました。リズム感と統一感があるからかな。

☆「 46 角～ 37 合～ 28 合～ 39 飛」という一連の流れが繰り返されるのが心地良さを生み出していると思います。

たくぼん－さらさらと一筆書きみたいに限定合５回。９手目 29 金と先に打つのもいい感触だし、収束の連続角生も凄いですね。

☆受方 55 角を 39 まで生で呼んできて 49 飛の横利きを遮る ── これもストーリーだけ書けば簡単なのですが、実に巧くできています。

隅の老人Ｂ－解けてただ一言、「巧妙」。いくら協力詰と言っても、都合の良い応手ばかり。呆れる、上手く出来てる。

☆角に対する連合や最下段の飛車に対する合駒は既成の筋ですが、その組合せ方に作者の発想の豊かさがうかがえます。

【総評等】

たくぼん－今回は肩のこらない楽しい作品が多かったです。解図 30 分でした。

☆さすがに速いですね。

神無七郎－さすがに４題で長編なしだと少し淋しいですね。
　ところで次回の課題に「無防備図式」とかはいかがでしょう？

☆実力者にはやや物足りなかったでしょうか・・・。
　なお、次回以降の課題およびスケジュールについては、この後の記事をご覧ください。

★Fairy of the Forest

～今後のスケジュールと創作課題

WFP への移管に伴い、今後のスケジュールを以下のように変更します（都合により若干のずれが生じることがあります）。

①春
02 月 18 日：課題発表：九州Ｇ連動　※２月号
04 月 15 日：投稿締切
04 月 18 日：出題　※４月号
05 月 15 日：解答締切
05 月 18 日：結果発表　※５月号

②夏
05 月 18 日：課題発表： FOF 独自　※５月号
07 月 15 日：投稿締切
07 月 18 日：出題（冬の課題設定依頼込み）※７月号
08 月 15 日：解答締切
08 月 18 日：結果発表　※８月号

③秋
08 月 18 日：課題発表：九州Ｇ連動　※８月号
10 月 15 日：投稿締切
10 月 18 日：出題　※ 10 月号
11 月 15 日：解答締切
11 月 18 日：結果発表　※ 11 月号

④冬
11 月 18 日：課題発表： FOF 独自　※ 11 月号
01 月 15 日：投稿締切
01 月 18 日：出題（夏の課題設定依頼込み）※１月号
02 月 15 日：解答締切
02 月 18 日：結果発表　※２月号

次回（＃ 19 ）の日程は『春』の出題になりますから、以下のような日程になります。
また、課題は九州Ｇ（普通詰）と連動しますから、「最終手＝香」となります。
（七郎さん提唱の「無防備図式」は、『夏』の課題案としておきます。）

Fairy of the Forest#19

■ 2008年 02 月 18 日：課題発表：最終手＝香（協力詰）
□ 2008年 04 月 15 日：投稿締切
□ 2009年 04 月 18 日：出題
□ 2009年 05 月 15 日：解答締切
□ 2009年 05 月 18 日：結果発表

「最終手＝香」というのは協力詰にはあまりそぐわない課題かも知れませんが、作家の皆さんの腕の見せ所。
多数のご投稿をお待ち申し上げます。
宛先→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

Onsite Fairy Mate 第143回出題解答

開催日　　：2009年　1月11日（日）
解答締切　：2009年　1月31日（土）
解答発表　：2009年　2月　1日（日）

神無七郎 作
強欲協力詰 85手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						銀	王		二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
銀									九

持駒 銀歩18

【ルール説明】

強欲
　攻方・受方とも、駒取りの手があるときは駒を取る手を優先する。駒取りの手がなければ、駒を取らない手を選択できる。
協力詰（＝ばか詰）
　協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【手順】

23銀打　13玉　14歩　24玉　25歩　同玉
34銀生　14玉　23銀引生　24玉　25歩　35玉
36歩　同玉　45銀　25玉　34銀引生　35玉
36歩　46玉　47歩　同玉　56銀　36玉
45銀引　46玉　47歩　57玉　58歩　同玉
67銀　47玉　56銀引　57玉　58歩　68玉
69歩　同玉　78銀　58玉　67銀引　57玉
66銀　同玉　67歩　76玉　77歩　86玉
87歩　75玉　76歩　同玉　77銀　87玉
88銀上　96玉　97歩　85玉　86歩　75玉
66銀　86玉　77銀引　75玉　76歩　65玉
66歩　64玉　65歩　同玉　66銀　76玉
77銀上　85玉　86歩　74玉　75歩　64玉
65銀　75玉　76銀引　84玉　85銀　95玉
96歩　まで　85手

【解説】

本作の前半は銀２枚が８手一組で斜めに移動する追い趣向です。１サイクルで歩を２枚消費しますが、何せ持歩は18枚もありますから、駒不足の心配はありません。問題は趣向が終わった後の40手を越す収束です。「強欲」というのは微妙な条件で、盤上の駒が消えないように注意しないといけない反面、下手に盤上に駒を残すとその駒を取らざるを得なくなって不詰になることが多々あります。そのために、歩を据えたり消したりする細かい配慮が必要です。本作の手順で「強欲」らしい手筋が出てくる場面を、いくつかピックアップしてみましょう。

45手目67歩～49手目87歩：歩を複数並べて、１枚は盤上に残るように準備する
67手目66歩：67歩を残したままだと後で取らざるを得なくなるので、先に消去する
77手目75歩：これも取れる駒を複数にして１枚を盤上に残す頻出手筋

本作の収束ではこれ以外にも、細かい配慮が必要です。例えば、

61手目66銀：86歩を消去して後の85玉を可能にするなどは、強欲条件に直接関連した手筋ではありませんが、手の選択肢が限られる状況が多い強欲詰では、こいう展開も頻繁に出てきます。
飛角香などの飛び道具を使うと「強欲詰」は合駒で簡単に詰んでしまうことが多いのですが、小駒だけとか使用駒に制限がある等の特殊状況下では意外と手強い手順が出現します。このルールの真価が発揮されるのは、きっとこれからです。

→動く盤面で鑑賞する
（http://www.abz.jp/~k7ro/solve/TsumeML.html?prob143.xml）（Flash Player 9が必要で

す)

→動く盤面で鑑賞する
(http://www.abz.jp/~k7ro/solve/TMLView.html?prob143.xml) (Silverlight 版)
(Silverlight 2 が必要です)

【正解者及びコメント】(正解 2 名：到着順)

隅の老人Ｂさん

暇、暇潰しに解いてやろうで、着手。99銀が置いてある、こちらの方に追うのだな。どちらを取るの？で追いました。41手目までは順調、ここから先が長かった。「収束で手こずる」、あれやこれやと日がな一日、暇潰し。幾日かかったやら、成る程、これは面倒だ。ようやく解けて、よくまあ、こんな作品が創れるな。ほとほと感心です。

☆　締切１週間前まで解答者ゼロの状態が続いていたのですが、それを救ってくれたのが隅の老人Ｂさん。正に「解図は根性」ですね。ちなみに作る方は、「創作は執念」としておきましょう。
現在では機械検討が利用できるので、棋力が（あった方が良いですが）全てではありません。「きっとこれより良い図があるはず」という信念を持ち続けられるかどうかが重要だと思います。

たくぼんさん

それにしても七郎さんが創ると強欲協力詰でさえこんなに難しくなるんですね。
前半の趣向は３分で分かりましたが、その後の収束でかなり悩みました。（１週間以上）
特に、86歩と67歩の邪魔駒消去が凄い！67歩消去の意味付けは強欲ならではですね。
本作のおかげで今後、強欲系も創る方が増えそうで、今後が楽しみです。

☆　たくぼんさんは解答点数 100 ポイントや３連覇が掛かっているので、今年は特に楽しみですね。
昨年鬼門 (?) だった年初の出題もクリアしたので、パーフェクトもありうると思います。頑張ってください。

☆　ここしばらく管理人の自作の出題が続きましたが、次回は投稿作品の出題を予定しています。
過去の作例が少ないルールなので、どうやってルール説明をしようかと思案中です。
少なくともいつもの無駄口はカットになるでしょうね。

(2009.2.1　七郎)

詰 将 棋 メ モ

推理将棋第 18 回出題解答

担当　タラパパ

出題日　：2008 年 12 月 5 日
解答締切：2009 年 1 月 20 日

18-1　初級　渡辺秀行さん作　連珠将棋　９手

「隣の将棋変じゃない？なんか33と44ばっかり指してるみたいだけど」
「本当だ。６回もあるよ。おっと、もう詰んじゃったのか。９手とは短かいね」
「そう言えば、成った手の直後で飛車が動いていたね」

（条件）
・　９手で詰んだ
・　33 と 44 の着手が合計６回あった
・　成る手の直後の手で飛車が動いた

出題のことば（担当　タラパパ）
　33と44の手ばかりで、本当に詰むのでしょうか？

推理将棋18-1　解答　　担当　タラパパ

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀		香	一
			飛	王			角		二
歩	歩	歩	歩	歩		馬	歩	歩	三
					桂				四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

▲７六歩、▽５二玉、▲３三角不成、▽４四歩、▲同角不成、▽３三桂、▲同角成、▽６二飛、▲４四桂　まで９手で詰み

渡辺さん、新人とは名ばかり。解図力も抜群な上に条件付け巧者で、すでにベテランの域にある作者です。次々に優れたアイデアを発掘し、推理将棋の次代を背負う担い手と見ています。今後の登場機会も多いと思いますのでご期待ください。

さて本作、わずか９手のうち６手が33と44の着手といえば、これしかない手順ですが、いかにも目の付け所が素敵です。問題文を見て「ん？」と注目させる。「そんなことができるの？」そして知らずに解き始める（笑）

「成った手の直後で飛車が動いた」も、少条件で成るタイミングを限定させる手馴れたものでした。

33や44の言葉から連想される『連珠』。推理将棋では工夫をこらしたタイトルもまた楽しめます。

はなさかしろう　「角打ちの詰みは連珠手が一手足りず断念。76歩、飛車の移動手、それに玉が危険地帯に動く手で連珠手以外の３手が費やされてしまうのですが...44 桂があった！　狭いエリアでの手順の遣り繰りが面白い問題でした。」

■33桂で33角の手順ですね。

ミニベロ　「これは軽妙な手順です。条件もいい。掘り出し物ですね。連珠の場合、33や44では先手（黒）の負けですが。」

■推理将棋の世界では、33や44は先手の勝ちが定着しております。ホントか？

リーグ戦ファン　「この条件は先手角がダンスするしかないので、初級にふさわしくロジカルです。素晴らしい。角がどこで成るか、と、62の駒選択（飛か銀）を、１条件で片付けるところがうまいです。」

■おっしゃる通り、ロジカルに解ける作品で、慣れた人なら条件を見ただけで34桂までの詰みに気づく？

渡辺　「締切が長いから問題のレベルを上げましたね。本作（拙作）以外は難問だと思います。」

■上げたつもりはないのですが、新年だというのに解答者数が減ったということは...（汗）。

はらたっと　「先手は76歩が必須なので残り４手が「33」か「44」。後手は「33」か「44」を２手指すことになるので、33で桂を44で歩を取らせてフィニッシュは44に桂を打つ手順だろうとみえてきた。あとは、成る手の直後に飛車が動くようにすれば。。。クリアです。」

■後手が33や44の手を３回指すことは不可能。これはロジカルに決まりますものね。

神無七郎　「２手目に焦って44歩としてはいけないんですね。条件に合わない手を指す不利感をうまく使った問題。」

■先に44歩を突いてしまうと、33桂と跳ねて貰う余裕がなくなってしまう。うまいですよね。

S.Kimura　「角が往復することに気付いて、どうにか解けました。」

■軽趣向のような味もあって。

たくぼん　「こんな条件が成立するとは夢にも思わない。拍手。」

■たくぼんさんも、こんな条件を見つけましたらぜひ投稿してください。即採用ですから。

竹野龍騎　「先手の 33,44 は禁手なので、43桂で詰ますのかと思いました（嘘）」

■ふふふ、題名は『連珠禁手将棋』でしたか（笑）

はてるま　「とどめも「44」で仕上げたのが洒落てますね。」

■こうでなくてはねぇ。

高坂　研　「考えやすい条件で、理想的な客寄せ作。」

■こんな作品、詰パラでも欲しいのでは？（笑）

正解：１２名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
諏訪冬葉さん　たくぼんさん　竹野龍騎さん
はてるまさん　　はなさかしろうさん
はらたっとさん　ミニベロさん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

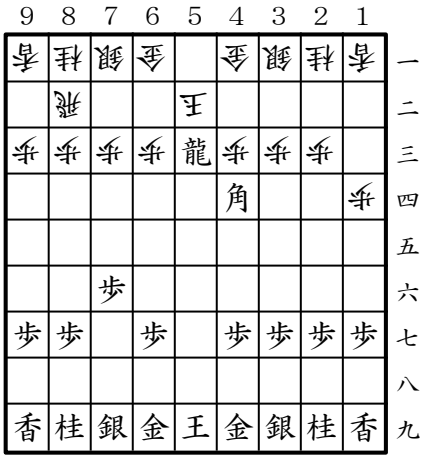
18-2　中級　はらたっとさん作　どっちの成りでショー　９手

「たった９手で詰みましたね」
「最後は同地点にどっちの大駒でも成り込めたんだけど、詰むのは片方だけだった。途中で不成が１回だけあったよ」
「歩頭の大駒の方は詰まないんですね」
「先手は３手連続で同じ駒を動かしたのが勝因だね」

（条件）
- ９手で詰んだ
- 最終手は大駒が同地点に両方成れたがどちらかで詰んだ
- 詰まない方の大駒は歩頭にあった
- 不成が１回だけあった
- 先手は３手連続で同じ駒を動かした

出題のことば（担当　タラパパ）
片方の大駒でしか詰まない大駒とは何？

推理将棋18-2　解答　　担当　タラパパ



持駒 角歩

▲７六歩、▽１四歩、▲４四角、▽１三角、▲５八飛、▽５七角不成、▲同飛、▽５二玉、▲５三飛成　まで９手で詰み

成ることのできる一地点に２枚の生大駒をフォーカスする手順、これが意外なほど少なくありません。たとえば不成１回を２回にすると、他の条件をすべて満たす別手順が生まれる際どい紛れも。

それでも本作、手数も短くそう難しくはなかろうと思っていたのですが、解答者の感想を見ると見込み違いだったようです。

後手の歩頭に44角と据え、その間に後手の角を使って57に一穴を穿ち、28飛車を働かせる。実に効率のよい手順。

はなさかしろう　「魅力的な紛れが多く、難問でした。後手の大駒を取りに行くと侵入した角がフリーズするし、歩頭の打駒の方が働きが弱くなりがち。角打ちは手数不足、飛打ちは詰み形が見えず。ところが... 先手の飛車の活用には手数がかかるという先入観があったのですが、後手玉が一手で死地に入るとは！ここでも６筋の紛れがあり、不成一回条件が最後まで強烈に利きました。」

■飛車を42で取ろうとすると不成１回ではNG。22角を不成で取って44角と打つような筋、６筋から飛車の侵入を図る筋も考えられますが、いずれも他の条件が満たせません。意外なことに不成は後手の着手でした。

ミニベロ　「条件に工夫が感じられる、豪快な手順です。３条件でまとめたいところです。」

■ミニベロさんの先行作（９筋からの手順）はたしか３条件。条件は１つ増えましたが、最初の２条件がどことなく愉快。

リーグ戦ファン　「修正条件「先手が３手連続」のおかげで、極端に条件が絞られたので、これもロジカルに解けました。この修正条件がつくなら、こっちが初級でもおかしくなかったですね。筋が全然見えてなかったので、「初手は飛」だったら私は相当に悩んだと思います。お互いに５筋を狙う角、端から行く手と44（66）から行く手があるのを、先手ルートを先に「歩頭」で44に決めることで縛ったわけですね。なるほど。」

■手順前後を見落としがちなのが担当の弱点で。折角の初登場に水を差してしまったのは不覚でした。作者からの連絡は早かったのですが、早見えする解答者の数名から手順前後解を頂戴しました。

渡辺　「今回の最難関。雲をつかむような条件から答がパチッと決まる。秀作。「不成１回」だけで筋が限定されているのが巧い。不成２回であれば22角生から44角生の筋や33角生から42角生の筋がいくらでも見付かるのに１回のものは仲々見付からない。「３連続」の条件により（角で飛車を取る手順を諦めやすくなったので）急激に易しくなったと思います（それでも難問ですが）。もう少し巧い限定法がなかったのでしょうか？」

■リーグ戦ファンさんが悩むと言われた「初手は飛車」なんていいかも(^^)

渡辺（１月３０日コメント）　「「初手は飛車」とか「５手目は飛車」のように５手目以内に飛車を使うことをあかしてしまうと、飛を取って打てるのは７手目以降なので、自陣飛車の移動が確定します。したがって、自陣飛車の活用に目が行くので、もっと易しくなると思います。

・３手目は角の着手

くらいが一番悩ましい限定条件かもしれません。」

神無七郎　「隠れた題名は「どっちの歩頭でショー」？自分の歩に腰掛ける形はかなり無理があるのですが、そちらを先に読んでしまいました。」

■不成条件さえなければ、そちらも９手で可能。う～ん、紛れが深い。

S.Kimura　「追加条件のお蔭で、先手の飛車で詰ますことに気が付きました。」

■一見、先手の飛車を使うには手数不足と感じますからね。

たくぼん　「これはわりと素直な順でした。最終地点は第一感が当たりました。」

■見えれば一瞬、見えないといくら考えても見えない。これが推理将棋の怖さ。

竹野龍騎　「ドーンと53に成り込む形がまず浮かんだ。手順が非限定なので余詰？」

高坂　研　「これは先手の手が手順前後できるので余詰でしょう」

■修正前にあっさり解かれたんですね。３連続条件の追加で完全だと思いますが、この手順前後になぜ作者も担当も気づかないのか？トホホ.....（泣）

はてるま　「解けませんでした・・・。「同じ駒を３連続で動かす」というのが難題で、ひらめきませんでした。」

■やはり難問でしたか。

正解：１１名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
諏訪冬葉さん　たくぼんさん　竹野龍騎さん
はなさかしろうさん　　はらたっとさん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

18-3　上級　はなさかしろうさん作
蜂に刺された蝶　13 手

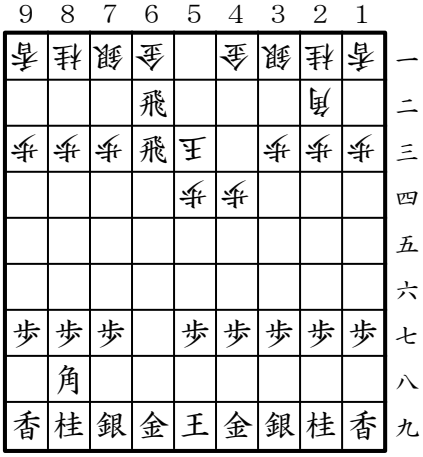
「完敗だ。いやまったく強情なヒトだったよ」
「 13 手で詰まされたんだってね」
「こちらはひとつの筋で２手続けて指したら次は別の筋に移ることにしたんだけど、向こうはずっと同じ筋の手を指してきたんだ」
「駒の種類はどうだったの？」
「こちらは１手おきに歩を突いたよ。向こうは指し手の駒の種類を１回しか切り替えなかった」
「ははぁ。と金にやられたね」
「いや、歩を成る手はなかったし、金も動かなかったよ」

（条件）
・　13 手で詰み
・　先手は１つの筋の手だけ指した
・　後手は２手指す毎に指し手の筋を変えた
・　先手は指し手の駒の種類を途中で１回だけ変えた
・　後手は１手おきに歩を突いた
・　歩を成る手も金を動かす手もなかった

※　駒の種類：特に触れない限り、飛と龍など生駒と成駒とは別種扱いです

出題のことば（担当　タラパパ）
　先手の攻撃は一つの筋なので、手数の割に考え易いかと

推理将棋18-3　解答　　担当　タラパパ



持駒 歩

▲６六歩、▽４四歩、▲６五歩、▽４二玉、▲６四歩、▽同歩、▲６八飛、▽６二飛、▲６四飛、▽５四歩、▲６二飛不成、▽５三玉、▲６三飛打　まで１３手で詰み

リーグ戦ファン　「同じ筋で２種の駒、ただしと金なし、という条件から、まずは歩＋飛で単騎飛車を思い浮かべますが、後手金が動かないというので挫折。だとしたら先手飛がどこかで後手飛を取って打つ筋なんだろうなぁ、と思った、その通りでした。後手の手順前後が山ほどあるところ、条件付けが巧みすぎます。すっきり綺麗な問題でした。」

■できれば手数＋４条件以内で収めたいところ

ですが。

ミニベロ　「やや条件多いですが、かなりの難問の意欲作です。」

■新人の意欲作はこれからもどんどん採用します。多少条件が多くても、本作は案外覚え易いと感じました。

渡辺　「条件から「歩か飛で飛を取って飛を打つ」ということが想像されますので、詰め上がりの想像はそんなに難しくありませんが、面白い形の詰め上りですね。先手４筋など他の筋では成立しないのが不思議です。」

■１筋モノは対称筋でも成立しがちなのですが、先に玉が動くと飛車が４筋に回れない仕掛けでした。

はらたっと　「１つの筋で２種類の駒となれば「歩」と「飛」だろうと。後手は１手おきに歩なので、玉の位置はどこだ？？？？詰め上がり図が見えず。「歩成」と「金」がないのがかなりの障害になってます。」

■惜しい。そこまで推理されていれば、あと一息でしたが。

神無七郎　「いかにも人工的な条件設定ですが、それに見合う手順ですね。問題文を読んだだけでは、６筋が主戦場であることを想像できません。」

■１筋モノだけに、作る側からはどの筋と謳いたくないんですよね。

S.Kimura　「１筋から攻める手ばかりを考えていたので苦戦しました。後手の飛車を取れば良かったのか・・」

■１筋とはまた、すごいところに目をつけたもの。後手の飛車を取る発想がポイントでした。

たくぼん　「最後まで残ったのがこれ。飛１枚での詰上りばかり考えていました。４筋ではダメなのも上手い創り方です。」

■なるほど、飛車一枚での詰みですか。条件を変えれば先手１筋条件で13手で作れそう。

高坂　研　「おそらくこれが作意だと思うが、もう少し明快な表現・条件を使うべき。例えば、”先手は指し手の駒の種類を途中で１度だけ変えた”というのは、先手が A-A-A-B-B …という着手なのか、それとも A-A-A-B-A-A …というのか分からない。」

■「切り替え」という言葉から、担当は前者としか考えませんでしたが、言われてみればたしかに。言葉で伝える難しさ、担当も今後できる限り注意し、気づいた時にはコメントで補足するようにしようと思います。なお、高坂さんからは別の問題提起も頂き、推理将棋の用語について考えさせられました。ただ、用語定義に拘ると、却って門戸を狭めかねない気がしてなりません。

正解：９名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
諏訪冬葉さん　たくぼんさん
はなさかしろうさん　ミニベロさん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

推理将棋第１８回出題全解答者：　１２名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
諏訪冬葉さん　たくぼんさん　竹野龍騎さん
はてるまさん　　はなさかしろうさん
はらたっとさん　　ミニベロさん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

当選：　ミニベロさん

おめでとうございます。
賞品をお送りしますので、賞品リスト　から選んだご希望の賞品と送付先をメールでお知らせください。

詰 将 棋 メ モ

推理将棋第新春出題解答

担当　タラパパ

出題日　：2008 年 12 月 5 日
解答締切：2009 年 1 月 20 日

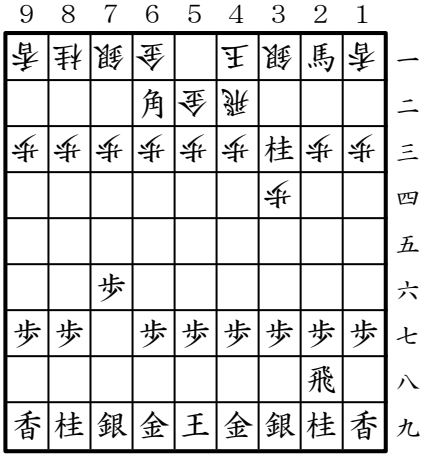
新春－1　まささん作　　急所は 33 桂

「たった９手で詰んじゃったよ」
「先手は 33 桂と打って持駒を使いきったよ」
　さて、どんな将棋だったのでしょうか？

（条件）
・　９手で詰んだ
・　先手は 33 桂と打って持駒を使いきった

出題のことば（担当　タラパパ）
　推理将棋界の大黒柱。今回の出題で一番解き易いかと

新春－1　解答　　担当　タラパパ



持駒　なし

▲７六歩、▽３四歩、▲２二角成、▽４二飛、▲２一馬、▽５二金左、▲６二角、▽４一玉、▲３三桂　まで９手で詰み

いまや推理将棋を語るときに、まささんのお名前を外すことはできません。東のミニベロさんに西のまささん、新春特別出題となれば、どうしても登場願わないといけません。

９手ですから持駒を使い切るには、使いにくい歩はなるべく取らないこと。 76 歩、 34 歩、 22 角（成or不成）は必然の展開。

解答者の皆さんのコメントにあるように、ロジカルに解ける理想的な１条件作品でした。

作者　「 33 桂が最終手と予想すれば容易に解けると思います。桂吊るし９手は他にも色々なパターンがあり、「桂を打って持駒を使いきって詰み」「 33 桂で詰み」ではどんな余詰があるか考えてみるのも一興でしょう。」

■そんなに色々とあるのですか。こうした手順を探すのも、一つの作品で何回も推理将棋を楽しむコツ。その二つ、見つけましたよ。各々１つだけですが。

渡辺　「 33 に跳ねた桂を取っては 33 に打つ暇がないので 22 角成から 21 馬だが、取った角をどうやって打つかを考えれば早い。」

■ 33 で桂を取ると、せっかく入手した角も使う余裕がありませんし。

はらたっと　「角桂を入手して、角は逃げ道をひとつ塞いでとどめに桂か。玉は 41 へ。ということは左金は 52 へ。 42 の駒は 33 に利きがない飛車。 62 角で 51 の地点を押さえてと .... すんなりクリアできました。」

■推理将棋では飛車を穴塞ぎに使うことが多いんですね。入手し易くて斜め利きがない貴重な駒。

神無七郎　「少ない条件設定で解図意欲が湧きますね。推理将棋でも簡素図式は貴重。」

■簡素図式は貴重品なのですが、発見が非常に難しいので数が少ない。たしか七郎さんに、 10 手簡素図式の好局がありましたよね？

はなさかしろう　「１問目から華々しい展開。桂香を使った詰みには玉方の飛車が頼りになりますね。」

■桂香の詰みに飛車の貢献あり。格言になりそ

うな真理。

S.Kimura　「▲６二角に意表を突かれました」

■玉方が角を打つ筋は推理将棋でもたいへん珍しい筋。打つ場合、普通は香が多いのですが。

たくぼん　「今回で一番解き易かった。タラパパさんと感覚が一緒でうれしいです。」

■私も嬉しい。易しいと思って初級に回すと、中級のほうが易しいと言われることが多くて（汗）

リーグ戦ファン　「華麗な一条件！ 33 桂はトドメではないに違いない、と最初に思いこんで、少しだけ袋小路に。 33 桂がトドメ、と決めてしまえば、すぐロジカルに解けます。」

■９手で三段目の桂といえば、たいてい最終手だと思いますが。

竹野龍騎　「 33 桂は７手目かと思ったらはずれました。１条件は見事。」

■お二人の評を見てふと、７手目に三段目の桂を打つ９手を考えてみました。 33 ではありませんが、一つ見つかりました。

はてるま　「相変わらずの条件設定の巧みさ。詰み形が見えやすく、考えやすい初心者向けの良問と思います。」

■こういう易しい良問ばかりで特集したいものですが。

高坂　研　「分かり易く、かつ解き易い条件で、易しい好作という表現がぴったり。「手数＋１条件」では、この作者の右に出るものはいない。」

■私なんか思いついては次々に余詰で潰れます（泣）。１条件作品の半数以上は氏の作品で占められる独壇場の世界。作る側にとって１条件は、一つの憧れの世界になっています。

ミニベロ　「まささん作も、さすがに正月だけにサービス問題ですね。」

■はい、ミニベロさん作も（笑）

正解：１１名

S.Kimura さん　神無七郎さん　高坂研さん
たくぼんさん　竹野龍騎さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　はらたっとさん
ミニベロさん　　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

新春 - ２　ミニベロさん作　将棋は打つもの？

「将棋は指すもの、碁は打つもの。隣は分かっとるのかね」
「バシバシっと、７、８、９手目は全部駒打ちだ」
「その９手目で詰んじゃったよ。後手の居玉が敗因だね」

（条件）
・　９手で詰んだ
・　７、８、９手目は駒打ち
・　後手玉は動かない

出題のことば（担当　タラパパ）
　推理将棋の創始者。３手目からの４手で３回の駒取りということは？

新春－２　解答　　担当　タラパパ

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九
							飛		八
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
		歩							六
									五
						歩			四
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
	飛		角		金	銀			二
香	桂	銀	金	王		角	桂	香	一

持駒　なし

▲７六歩、▽３四歩、▲２二角成、▽３二金、

▲同馬、▽同銀、▲３一角、▽６二角、
▲４二金　まで９手で詰み

推理将棋の創始者と書いたところ、ご本人より「創始者はチト違う。いわば仕掛け人」と訂正が入りました。お一人で立ち上げたものではないということですね。失礼しました。

推理将棋界にあって、ミニベロさんはさしずめ東の龍、まささんが西の虎というところ。２～３年なら、お二人とも個展が開けるほどの秀逸な作品群をお持ちです。もっともご本人たちからは、作品のない時にだけ使ってくれと条件がつけられていますが。

本局、わずか２条件ながら、その中にはヒントがぎっしりです。一つは居玉。居玉を詰めるには、どちらかの金に働きかけるか、桂で吊るすか、両王手が一般的。11手以内では、これ以外の詰め方はないと思いますので、大きなヒントになります。

作者　「絶連ですので、紛れようがない。」

■ふふふ。それでいいのです。

リーグ戦ファン　「６手目までに先手の持ち駒二枚、後手に一枚。実現するためには３手目22角。「成・不成限定がない」から多分成。５手目に馬が生角では取れないところで駒を取り、６手目にその馬が取られる、と分かるので、秒殺に近かったです。「成・不成限定がない」というズルを外しても、選択肢が31銀を取るしかないので、これは相当にロジカルに解けて、易しいと思います。「作者：ミニベロさん」が一番の叙述トリック？」

■作者名が一番のトリックですか。ミニベロさん、苦笑いするしかない？

渡辺　「「先後合せて３連続の駒打」で３、５手目で駒入手、７、９手目で打つしかなく、「76歩、34歩、22角（成）、駒取らず、馬（角）で駒取、同ｘ、打、角打、打」に決定する。
ミニベロさんにしては珍しくサービスヒント付きの易しい問題。」

■先後合せて３連続の駒打という条件で、これだけ手順が絞れる論理性が本作の売りでしょう。

はらたっと　「居玉で後手も駒を打つとなると、先手は「角」「金」を入手してその角を後手に効率よくとらせるには、32の地点で交換して角を62に打たせて逃げ道を断つ....これもすんなりクリア。」

■金を取る。そこに気づくのがポイントでした。

神無七郎　「これも少ない条件設定に好感。出題時のヒントも親切で、正月向きの配慮が覗えます。（実際には年末に解いたのですが）」

■これからも軽いヒントを交えようかと。

はなさかしろう　「居玉が敗因というか、62角が実にアホらしい... もとい素晴らしいアシスト。手順は脱力系ですが、この条件付けは奥が深そうですね。」

■これ以上の条件はないでしょう。62角のアホらしさが推理将棋の醍醐味ででした。

S.Kimura　「角を取り返して△６二角とするのが好手ですね。」

■アホらしさが際立つほど、推理将棋では絶妙ですから。

たくぼん　「先手も後手も角を取っちゃうのが巧手！」

■後手が角を取る作品は多くないですものね。

竹野龍騎　「角が成（または生）限定の手順を考えたら解けました。すっきり条件に好感。」

■なるほど。銀を取るなら角不成でいい筈。そうしたアプローチですか。

はてるま　「８手目62角が絶妙。これは条件設定が先にあった作品でしょうか？簡素な条件の中に旨みのある手順を掘り当てるのもまた楽しいものですよね。」

■作者に訊いてみなければ判りませんが、おそらく先に条件ありきなのでしょう。

高坂　研　「７手目の局面で先手の持駒が２枚あるということから、手は限られる。「後手玉は動かない」を外した場合の余詰順は？」

■その答の代わりにリーグ戦ファンさんから問題を（笑）。

リーグ戦ファン　「そうそう、後手玉居玉、を抜かすと、どうなるんだろうと思ったら....この余詰の発見は少し時間がかかりました。私ならこっちの余詰順を解にするかも。」

（条件）
(1)　７－９手目駒打ちの９手詰
(2)　駒成はない
(3)　トドメは角打でない

とすれば、こっちの順に絞れるのでしょうかしらん。もっと意地悪く

（条件）
(1)　７－９手目駒打ちの９手詰
(2)　不成はない
(3)　後手の駒打ちは７筋

とでもすると、解答者がもう少し悩んでくれそうですね。

■ちなみに、上記２つの手順は若干異なります。

正解：１１名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
たくぼんさん　竹野龍騎さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　　はらたっとさん
ミニベロさん　　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

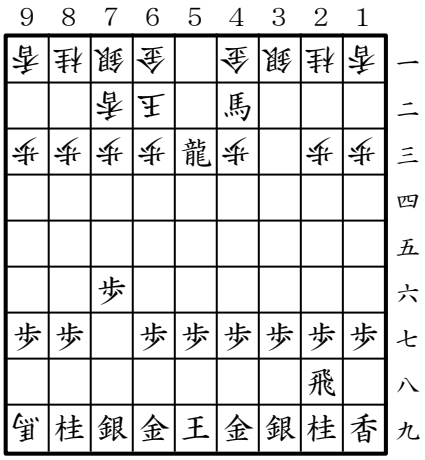
新春－３　リーグ戦ファンさん作　龍馬がゆく

「９手で勝ちました。 55 の手が勝負を分けました」
「詰め上がり図に、龍と馬が３枚ありもうす」
「勝さん、西郷さん、不成りがおらんちゅうがを指摘せんといかんぜよ」
「あんた誰？」

（条件）
・　９手で詰んだ
・　詰め上がりの盤面に、龍と馬が合計３枚ある
・　どちらかに 55 の手があった
・　不成の手はなし

出題のことば（担当　タラパパ）
　大駒３枚が成るには、先手の駒だけでは無理でしょうね

新春－３　解答　　担当　タラパパ



持駒 歩2

▲７六歩、▽４二飛、▲３三角成、▽６二玉、▲４二馬、▽９九角成、▲５五飛、▽７二香、▲５三飛成　まで９手で詰み

あるとき、ここの解答の好レンでもあるたくぼんさんが、詰四会用の課題作として、四国に因んだ作品を募集したことがありました。怪しいのも含めて（よくこれだけ工夫できるものと感心）かなり集まり、mixiの推理将棋コミュニティで、ブームのように発表が相次いだ時期の作品です。

本音は龍と馬と、盤面２枚が作者の理想でしたが、簡素な条件にまとまらなかったようです。坂本竜馬が馬に乗ってでかけたのでしょう。

たった９手で大駒３枚が成るというのも、かなり難題そうですが。

作者　「玉方が駒を打って邪魔ゴマとする筋を９手で実現できないかと考えた問題です。「55の手」という怪しい条件で、左サイドから攻めて行くような筋をちょっと考えてくださった方がおいででしたら、嬉しく思います。」

■先に狙いがあって作られ、四国ブームにちょうどタイミングが合ったのでしたか。さて、解答時。

作者　「タラパパさん、この問題、このメンバーに囲まれたのでは、家賃が高すぎ。可哀想ってもんです・・・「55の手」は工夫はわかりますが（？）やっぱり邪道でしょう。」

■家賃が高いなんてことは決してありませんから（笑）。また、推理将棋に邪道はないと思っています。

渡辺　「玉方香打ちは一度覚えないとなかなか指せない手。駒を打ったなどとせずに、玉方飛車をなくすことによって香打ちを強制させるのが巧い。」

■「玉方が駒を打った」はつや消し条件ですからね。詰められる側の駒打ち、面白いテーマなので担当も好きです。

はらたっと　「最初、先手５５角から後手の飛車を取る順かと思いましたが、後手も角を成らなければいけなく手数が足りない。そうか、飛車は42で取らせて、飛車打ちを55に限定させるための条件か。これがわかれば、99に角を成って、香で玉の退路を塞げば....なんとかクリア」

神無七郎　「「55の手」がクセモノですね。どうしても76歩～55角と出たくなります。」

■はい、そこが作者の仕掛けた誘いです。ですから一度は76歩～55角を考えて貰わないと（笑）

はなさかしろう　「「あんた誰？」が笑いのツボにはまりました。72香のぴったり感が気持ち良かったです。」

■はなさかさんも？同じく私もです。いやぁ～、大笑いでした。

S.Kimura　「後手角の成る位置をどのように限定しているのかと思いましたが、72香には驚かされました。」

たくぼん　「慣れてないと香取る手には苦労するかも」

■手筋ですが、覚えないと気づきにくい手でしょうね。

竹野龍騎　「第一感は55角。そして悩みました…。」

■ふふふ、作戦成功(^^)

はてるま　「「55の手」という条件が、55角～82角成と飛車を取る順を匂わせて、紛れに深みを与えていますね。99角成～72香の流れにも味わいがあります。」

■リーグ戦ファンさん、はてるまさんも「深み」と言われていますから。

高坂　研　「「詰上がり図に龍馬４枚」とすると、最短手数は果たして何手だろう？」

■おっ！新しい課題かも。11手なら凄そうですが、どうしても12手かかる？

ミニベロ　「取った香を使う基本手筋。55は普通角だと思っちゃうんだよね。」

■取った香を使う手筋。凝ったことがありました。

正解：１１名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
たくぼんさん　竹野龍騎さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　はらたっとさん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

新春・４　ぷらさん作　　飛車角消失

下手の横好き二人組みが将棋を指していました。のぞいてみると、先手の駒台には後手の飛車があり後手の駒台には先手の角があります。それ以外の駒は最初に並べた形のままです。いったいどうやったらこんな局面になるのか二人に聞いてみました。

先手「いま 11 手目を指したところ」
後手「飛車は７筋には行きませんでした」
先手「同○の着手（動かしたばかりの駒を取る手）が４回あった」
後手「双方成った駒はひとつもないよ」

（条件）
・　11 手で目標図
・　７筋に飛車は行かなかった
・　同○の着手（動かしたばかりの駒を取る手）が４回あった
・　双方、成る手はなかった

作者「いまどき非限定のある作品は認められない傾向にあるようなので、いろいろ条件をつけましたが、 11 手で指定の図にたどりつくということだけ考えても楽しいはず。まずは 11 手という条件だけでトライしてみてください」

出題のことば（担当　タラパパ）
　求める形は「詰み」ではありません。推理将棋にはこんな分野もあります

新春－４　解答　　担当　タラパパ

持駒　角

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	一
							角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 飛

▲９六歩、▽９二飛、▲９五歩、▽９四歩、▲同歩、▽同飛、▲９八歩、▽９三歩、▲９七角、▽同飛不成、▲同歩　まで１１手でぷらさんは推理将棋が始まった頃からの作家ですが（というより立ち上げメンバーのお一人？）、はじめの頃は駒の入れ替えパズルが多く、その頃に作られた作品です。

作者の言葉の通り、恐らくこの問題は、手順が限定しなくても、11手で指定局面にするという課題だけで考えるほうが楽しめると思います。

この問題はなかなか解けず、今では自分で解いたのか、解答を見てしまったのか定かではありませんが、この作品が好きで、ぷらさんに頼んで、無理矢理に手順を限定させていただいた問題です。

同○の着手４回の条件は、かなりのヒント。どこかの歩を突かないといけませんが、その歩を短手数で戻すのが工夫になります。

98歩と打つ手が気づきにくい好手でした。

リーグ戦ファン　「７筋で歩を交換手順がすぐ浮かんで、秒殺！と思ったら orz。その後、73角成同飛の順（これは飛車が７筋に行くのでだめなんですけど）、82角成で飛車を取る順、33角成同飛から76歩を取らせる順、など色々悩んで悪戦苦闘。その日は解けず、９筋に気づいたのは翌朝のトイレの中でふと、でした。この問題が今回一番時間がかかりました。「７筋に飛車【は】行かなかった　」・・・なるほどねぇ。タラパパさんはご存知でしょうけれど、私はこういうヒントの出し方、かなり好きですし、これに関しては非常に巧みだと思います。」

■「７筋の手はなかった」の代わりに「７筋に飛車は行かなかった」が微妙な機微というもの。

渡辺　「将棋のPGは駒打ちがあるのでチェスのPGより断然難しい。本作もレトロをしようとしても、最後は歩打ちなのか歩突きなのかを考える。最も効率的なのが飛を取りながらの歩突きであることが分かって解けました。」

■推理将棋というよりもプルーフゲームなのですが、言葉で表現しうる判り易い形なので、投稿していただきました。

はらたっと　「11手だけでトライして、最初は７筋を使って12手でクリア。短縮手順を探す。。。。そうか。77で角と飛のやりとりをすれば１手短縮できた！。あとは、７筋でできるんだから９筋でもＯＫ。同○４回は手順前後解消。成る手なしは飛車の不成を限定か。ようやく正解手順へ。３度楽しめました。」

■11手だけでトライして手順を見つけたなら素晴らしい。ずぅんと難易度が上がりますから。

神無七郎　「「７筋に飛車は行かなかった」の条件は大き過ぎますね。これだけ条件を付けないといけないということは、素材選定の段階で既に無理があるのだと思います。」

■そうかもしれませんが、担当はこの問題が大好きなのです。

はなさかしろう　「今回一番の苦戦。一見地味ながら精密なタイミングで交換が行われ、丁度手数に収まった瞬間はため息が出ました。」

■今回の中で一番難しかろうと思っていました（笑）

S.Kimura　「歩を元の位置に戻す方法が分からず、悩みました。」

■そこが急所でした。上手い方法があるものです。

たくぼん　「プルーフゲーム形式で図面があったほうが分かりやすそうですね。」

■おっしゃる通りです。プルーフゲームはすべて推理将棋になりうるのですが、さすがに複雑な局面は言葉だけでは無理がありますね。

竹野龍騎　「双方同じ筋の歩を１つだけ突き合う展開だと思いましたが、第一感は８筋で苦戦。７筋に飛車が行かない条件から、（８筋に対して）対称の９筋！が閃いて解けました。」

■飛車・・・・７筋に行かない・・・・８筋に対して対称。さすがPGを得意とする竹野さんならではの思考。

はてるま　「当然まず７６歩から考えて、さてこの歩をどう処理するか・・・と悩んだわけですが、ひとしきり考えて、９６歩からの順に思い当ったときは、まさに目からウロコ、でした。同○４回の条件もちょっとしたパズルで、ひと粒で２度楽しませていただきました。」

ミニベロ　「推理将棋という名前もない頃の作品ですね。限定のために今回付けた条件が絶妙。」

正解：１０名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　たくぼんさん
竹野龍騎さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　はらたっとさん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

新春・５　けいたんさん作　　成田くん

「うーん、たった 12 手で詰みか。成田くんに駒を成られないで負けるとは不覚だ」
「僕は成りたかったんだよ。でも敵陣に入らなかったからね」
「５連続で玉を動かしたのがまずかったかな」
「まあ、４連続で大駒を動かした僕のほうが冴えてたんじゃない」

（条件）
・　12 手で詰んだ
・　後手は敵陣に入らない
・　先手は５連続で玉を動かす
・　後手は４連続で大駒を動かす（同じ駒でも違う駒でも可）

出題のことば（担当　タラパパ）
　おなじみ「人名シリーズ」、連続着手なので手数の割には考え易い？

新春－５　解答　　担当　タラパパ

▲３六歩、▽１四歩、▲４八玉、▽１五歩、▲３七玉、▽１三角、▲２六玉、▽１二飛、▲１五玉、▽３五角、▲２五玉、▽１五飛まで１２手で詰み

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
									二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		三
									四
						角	王	飛	五
						歩			六
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 歩

人名シリーズ、今回は「成田くん」。駒を成りたい成田くんに成られないうちに詰められた気の毒な先手のお話。

「５連続で玉を動かした」しかも「敵陣に入らなかった」ですから、先手は初手に歩一枚を突いたら、ひたすら玉が移動したことになります。

この問題を解くには、手順の模索よりも詰み形の模索が求められます。もっとも、その前に一直線に解いてしまった方もいらっしゃいますが。

あつらえたようなうまい形があるものです。貴重な発見。

作者　「ジャマ駒消去、限定移動と詰将棋的な手が入ったのが、好印象かと。」

■非常に良質のパズルという気がします。

リーグ戦ファン　「これは解くまでにかかった時間こそ短かったですが、大傑作だと思います！玉Ｎ手条件のくせに、（Ｎ－１）手で到達できる地点で詰み上がるという意外性を、一切の経路条件なしで実現できたのがすごいです。」

■この条件で全てが限定されているのは、信じられないほどです。

渡辺　「氏の作品は詰め上がりが見所の作が多く本作も例外ではない。「敵陣に入らない」から詰みの形を見切れるかどうかがポイント。氏の作品にしては制約が大きく、比較的考えやすいと思います。」

■まったく同感です。

はらたっと　「連続手順でかなり限定されるはずが。。詰め上がり図がみえてこない。。。」

■35角で逃げ道を遮断して15飛。これが見えないと手がつけられません。

神無七郎　「玉が死地に向かって一直線。手が限られるので一番易しかった。」

■相当詰み形に明るいからこそ言える言葉。易しくないはずなのですが。

はなさかしろう　「手探りで当たりをつけていたら吸い寄せられるように詰んでしまいました。手順を見直すと最後の玉のアクションがなんとも怪しく、余詰探しをしたもののあと一歩及ばず。条件付けの妙に感心の他ありません。」

■推理将棋の神様が味方をしてくださった？

S.Kimura　「先手が１筋から行く手ばかり考えていたので相当苦労しました。後手の飛車を取れば良かったのですね。」

■飛車を取らないで、飛車先の歩を取ってください（笑）

たくぼん　「12手というのでびびったが意外といけた。手順は見事！」

■たくぼんさんがびびるなんて、ご冗談でしょう。

竹野龍騎　「限定手順を鍵にして、まずは36歩突いて玉が一気に15へ行く筋を考えたらすぐに解けました。これで余詰がないとは驚きまし

た。シンプルで少ない条件による佳作と思います。」

■今回の作品中でも掘り出し物の一つでした。

はてるま　「詰め上がりの形がなかなか見えませんでしたが、見えたら一気にひらめきました。条件簡素で、詰めあがりも美しい。垢抜けた好作ですね。」

■出来すぎなのかも。

ミニベロ　「条件違いの某先行作もあるが、こちらの方が難問かもしれない。」

■先行作がありましたか。条件が違えば問題ありません。本局の条件はかなり見事でした。

正解：９名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　たくぼんさん
竹野龍騎さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　ミニベロさん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

総評など

リーグ戦ファン　「新春にお送りしようかと思っていたのですが、またまたパソコンが修理に出されることになったので、先に送ってしまいますね。無粋ですみません。」

■年内は無粋？そのようなことはありませんから。

はらたっと　「小生、12月27日から１月４日まで年末年始は９連休でしたのでじっくり考えましたが....まだ１つ解けません。とりあえず一旦おくります。」

■時間切れ、惜しかったですね。推理将棋は盲点にハマると、いくら考えても解けません。そういえば最近、８ヶ月ぶりくらいで解けた作品がありましたっけ。

はなさかしろう　「待ち切れず解いてしまいましたが、メールを書く楽しみは取っておきました。年末に昔の将棋仲間と集まった時に推理将棋を紹介しましたが、棋力では私より上の連中も苦戦していました。慣れるまでが結構大変なのかもしれません。」

■推理将棋独特の感覚が必要なようです。ただし、指将棋や詰将棋の感覚は壊れます（笑）

たくぼん　「お願いがあるのですが、Fairy Top Ⅸ2008への投票をよろしくお願いします。」

■ということなので皆さん、たくぼんさんのＨＰへＧＯ！

★Web Fairy Paradise、Fairy TopIX を参照。「推理将棋・プルーフゲーム部門」も設置されました。

ミニベロ　「なるほど。あっちは新人、こっちはベテランというわけですね。」

■はい、次回はあちらの方々も、こちらに来ていただきます。歴史の浅い推理将棋では、すぐにベテラン、中堅扱い（笑）

新春の推理将棋出題全解答者：　１１名

S.Kimuraさん　神無七郎さん　高坂研さん
たくぼんさん　竹野龍騎さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　はらたっとさん
ミニベロさん　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

当選：　竹野龍騎さん、渡辺さん

おめでとうございます。賞品をお送りしますので、賞品リスト　から選んだご希望の賞品と送付先をメールでお知らせください。

Fairy TopⅨ 2008 投票結果

2008 年の　Fairy TopIX　投票結果発表です。

投票者は、はらたっと、橋本孝治、竹野龍騎、酒井博久、高坂研、ｄｓｋ、橘圭伍、たくぼんの８名でした。ありがとうございました。

今回から妖精都市より WFP に移管されましたのでまだ要領が掴めませんでしたのでいろいろ不備な点も多く迷惑をおかけした部分も多々あったと思います。悪い所は改善して来年はたくさんの人に投票して頂ける様していきたいと思っています。

それでは短編部門よりまいりましょう。

【 短 編 部 門 】

投票者：橋本孝治、橘圭伍、たくぼん

短編部門の投票者は僅か３名でした。投票者は自作に遠慮して投票を控えることが多いので投票者の作品がある場合、結果への影響が大きいと言えます。やはり多くのの投票が必要ですね。

そんな中 2008 年の短編上位３作は、４位以下を引き離しての受賞ですので文句なしです。

１位は、同率で荻絵香木作・最多紛れ数の協力詰５手詰と伊達悠作・マドラシキルケ打歩ばか詰 11 手が入りました。

荻絵作は紛れの解析局面数が 43,7341,179 の５手詰で、OFM139回出題の「紛れ最多の５手の協力詰を作れ」という作図問題の１位作です。

伊達作は、OFM133回に出題されたマドラシキルケ打歩ばか詰 11 手で「玉頭以外の打歩詰」が主題の作品です。飛と角の焦点から１つ外した地点に打つ最終手が意表をつきますし、99 の駒を角ではなく馬にする所も考えどころです。伊達さんは現在受験の真っ最中、入試の前に１位受賞という良い事がありましたのできっと朗報をもってフェアリー界に帰ってきてくれることでしょう。

３位は、神無太郎氏のツインの作品。２つ合わせての完成度はさすがと思います。私はｂが難しいといい橋本さんはａを絶賛。人によって難易の感じ方が違うのが話題にもなりました。

【得票順】

1位　荻絵香木　　OFM 第 139 回出題
協力詰　５手　　１１pt

1位　伊達悠　　OFM 第 133 回出題
マドラシキルケ打歩ばか詰　11手　１１pt

3位　神無太郎　JEWEL BOX#5　３番 a,b
ばか自殺ステイルメイト　14 手　6pt

4位　北村太路　第４回詰四会Ｆ作品展５番
ばか自殺ステイルメイト　８手　２pt

4位　小峰耕希　JEWEL BOX#5　２番
ナイトライダー玉協力詰　９手　２pt

6位　小峰耕希　第 15 回九州Ｇ作品展１番
協力詰　８手　１pt

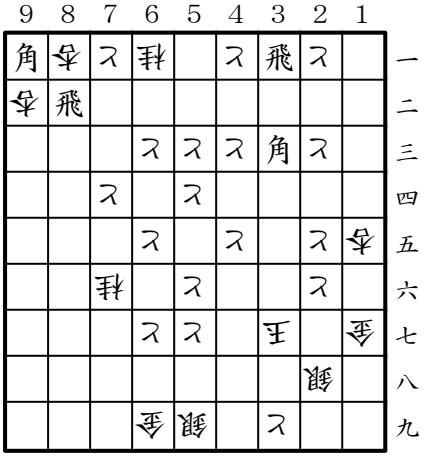
6位　シン　第５回 WFP-F 作品展　２番
アンチキルケ協力自王詰　７手　１pt

6位　伊達悠　第 11 回 NC ばか詰作品展５番
アンチキルケ打歩ばか詰　９手　１pt

（注）同位の場合は作者名の五十音順です。

1位　荻絵香木　　協力詰　５手

OFM 第 139 回出題



持駒 金銀桂

29 桂　同と 38 銀 48 玉 49 金　迄　５手

受賞コメント　荻絵香木

思いついたアイデアを、片っ端から試していったら、二つのバッテリーにたどり着いた、という感じです。一位の人がどの辺にいるかを知らされなかったら、たどり着けなかったと思います。

橋本孝治　１位

「紛れ最多の５手詰を作れ」という命題への最優秀解答。厳密にはこれが紛れ最多と証明されたわけではないですが、この企画に参加された全員の代表として表彰する意味を込めて票を投じます。

たくぼん　１位

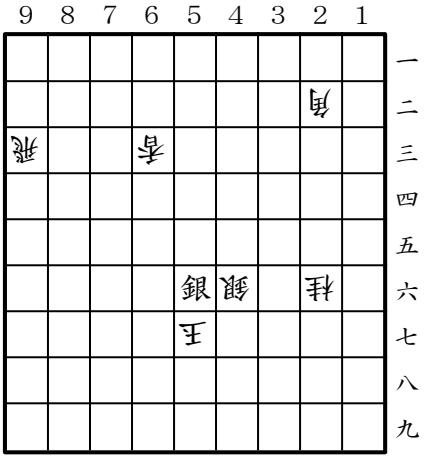
作図に挑戦したした人にはこの作品の凄さが分かるはず。それにしても４０００万を超えるとは私の想像すら超えています。参りました。

橋圭伍　　次点

この出題形式と素晴らしい数の紛れ局面に１票投じたいです

１位　伊達悠　　OFM 第 133 回出題

マドラシキルケ打歩ばか詰　11手



持駒 飛

87 飛　77 角打　同飛　同角生 /28 飛
58 飛　98 飛生　93 角　66 歩
同角成　99 角成　78 歩　まで　11 手

受賞コメント　伊達悠

２月２１日朝５時１０分前。受験生になってからは毎朝５時に起きるのだが、今日は違った。母がいつもと違う様子で起こしてきたのだ。

「悠にたくぼんさんからメールがきてるんだけど、 Fairy Topix の１位ってどういうこと？」

受験勉強が本格的に始まってから約半年、まさかフェアリー関係の言葉が自分の母親の口から出るなんてことは全く考えていない（そもそも起きたばかりで頭が朦朧とした）状態で「 Fairy Topix の１位」を説明することは元来無理な話であって。

それにしても、今回の受賞は完全に望外でした。ＯＦＭ出題後の北村氏のコメントにもあった通り、キルケの細則を使うことには賛否両論あると思っていたので、 Fairy Topix 狙いは合格した後と思っていました。しかし何と、本試験４日前に受賞通知メールが来ると

は・・・・・・

合格へ向けて、（予想外でしたが）いいラストスパートになったと思います。ありがとうございました。

橋圭伍　１位

今回はこの作品を押したいと思います。ルールを最大限りに生かした手順と詰上りは見事と言うしかないでしょう。傑作だと思います

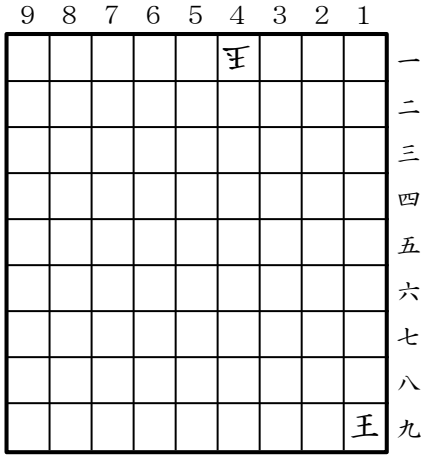
橋本孝治　２位

よくあるマドラシの手筋に２回転半くらいヒネリを加えた感じの作品。狙いの最終手だけでなく、そこに至る手順も結構面白いと思いました。

たくぼん　２位

飛と角の焦点に打つというよくある筋ではないのが良い。打歩の第一人者としての面目躍如。受験が終わってきっと復活しまた新たなる打歩の作品を見せてくれることでしょう。

３位　神無太郎作　JEWEL BOX #5-3番
ばか自殺 STM　　14 手



持駒 角桂4

b) 41 玉　→　51 玉

a)
53 桂　52 玉　16 角　34 飛　44 桂　53 玉
45 桂　44 玉　56 桂　45 玉　27 角　56 玉
38 角　同飛成　まで　14 手

b)
24 角　33 飛　43 桂　52 玉　44 桂　43 玉
55 桂　44 玉　35 角　55 玉　46 角　同玉
38 桂　同飛成　まで　14 手

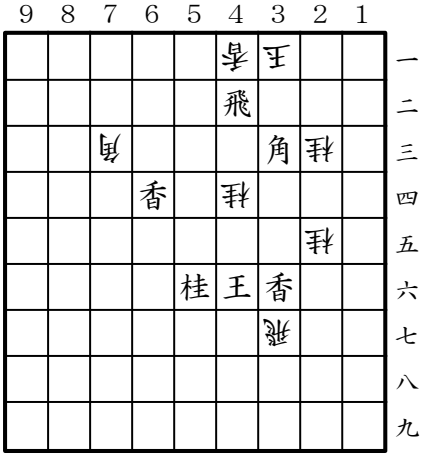
受賞コメント　神無太郎
望外の受賞で驚いています。出題時にコメントしたとおり、森茂さんの未発表作の検証作業時に発見したもで、ツインとしての対比はかなりもの足りないというのが自己評価。
Fairy TopIX の投票もできておらず、フェアリー活動は停滞気味ですが、これを契機に復活できればと思います。投票いただいた皆様、ありがとうございました。

橘圭伍　　２位
２解物ですが玉が少しズレルだけで手順が変わるのが面白い

たくぼん　３位
王の位置が１つ変わるだけで手順が全く変わるのが素晴らしい。ａは簡単に分かったがｂがなかなか解けず苦労した覚えがあります。それにしてもどうやって創るんでしょうか？

橋本孝治　　次点
角を打ちたい局面で桂を打つａは秀逸。個人的にはこれ単独の方が良いと思うのですが、セット出題なのでセットで投票しておきます。

４位　北村太路作　第４回詰四会Ｆ作品展５
ばか自殺 STM　８手

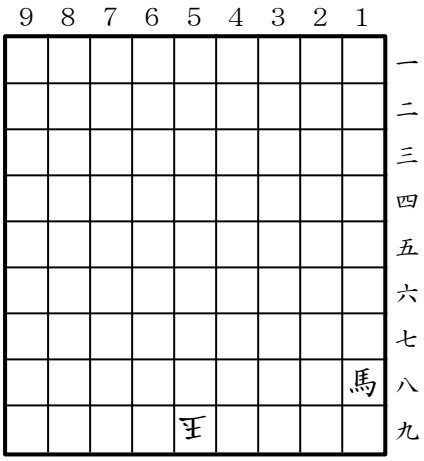


持駒 なし

11 角生 36 桂 22 角生 42 玉 33 角生 53 玉
44 角生　54 玉　迄　８手

橘圭伍　３位
これ以外は個人的には混戦でした。悩みましたが一番好みの作品を選択しました。易しいが好作

４位　小峰耕希作　JEWEL BOX #5-2番
ナイトライダー王協力詰９手
後手：持駒なし



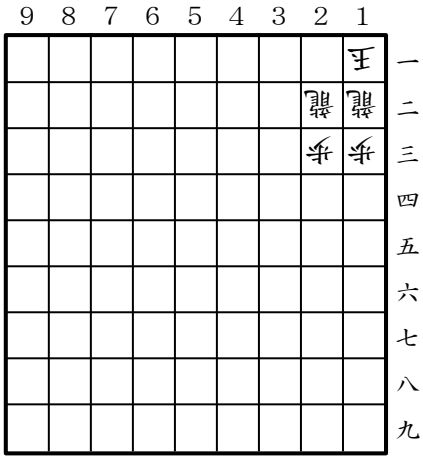
持駒 歩夜

83 夜　同玉　84 歩　71 玉　17 馬　62 夜
同馬　92 玉　35 夜　まで　９ 手

橋本孝治　３位

ナイトライダーの利きに慣れるのは大変ですが、それが持駒になったらこんなに恐ろしいことに…チェスプロブレムとか古将棋の駒は大抵利きが大きいので、持駒として利用するのは便利でもあり怖くもあります。

６位　小峰耕希 Fairy of the Forest#15-01
協力詰８手



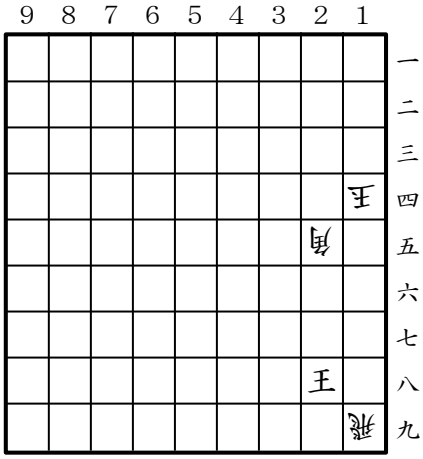
持駒 銀4

21 龍直　22 銀　同玉　11 銀　同龍引　33 銀
31 玉　42 銀打　まで　8 手

たくぼん　　次点

甘く見たら意外と苦戦。11銀がうまい手で形も言うことなし。最近はフェアリーから遠ざかっているようですがそろそろ戻ってきて欲しいですね。

６位　シン　第５回WFP-F作品展２番
アンチキルケ協力自玉詰７手



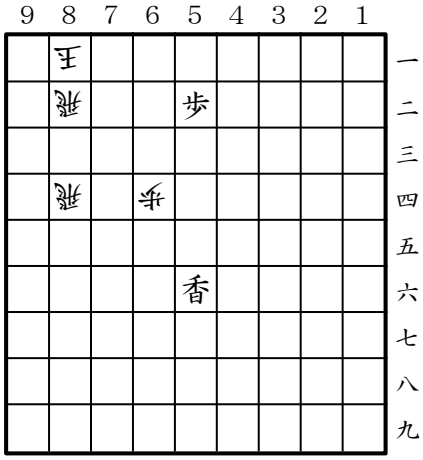
持駒 飛

49 銀　18 飛　17 角　同玉 /59 玉
16 角 69 角　58 銀成　迄　7 手

橋本孝治　　次点

受先形式を活用して、派手な手筋を更に派手にした好例。紛れの多い構図も作品価値を高めています。

６位　伊達悠　第11回NCばか詰作品展５番
アンチキルケ打歩ばか詰　９手



持駒 角2

45 角　54 歩　同香 /19 香　54 香
72 角　92 玉　56 角　同香 /91 香
93 歩　迄　9 手

橋本孝治　　次点

スッキリとした構図から左右に復活する大技を実現。実にスマートな好作。

【短編部門・総評】

橋本孝治

何だか自分の解説した作を上位に入れてしまいましたが、短編は印象勝負の面が強いので、どうしてもこういう傾向になってしまいますね。期間が１年となるとずいぶん昔に解いたような気がして、解いたときの感覚が薄れているものもありました。

橘圭伍

結構悩みましたが１位はさっくり決定しました。数が多いので１作１作吟味していくのも大変・・・

たくぼん

強烈な印象が残った作品は少なかったように思います。

【 中 編 部 門 】

投票者：橋本孝治、橋圭伍、たくぼん

中編部門の投票者も３名と寂しい状況。上位に投票者の作品もあるので少なからず順位に影響があったかもしれない。

そんな中、１位はダントツの満票で真Ｔさんの最悪詰が獲得。これは文句なしでしょう。

作者は「狙いは 13 角×２です。 47 龍にもう一働きさせたくて序を入れました」と言われてましたが、収束よりも序の変化・紛れの重厚さ、初手打った香が、香生で移動し最後香成で締めているところなど非の打ちどころがない傑作で満票も当然だろう。

２位は私の作品が入りましたが、創ったというより見つけたという感じの作品ですので出来すぎの結果です。とは言え初受賞ですので素直に喜びたいと思います。

３位は３作。投票数が少ないので已むを得ませんがそれぞれ印象の強い作品群でした。

【得票順】

１位　真Ｔ　第３回 WFP-F 作品展４番
最悪詰　20 手　　１５pt

２位　たくぼん　第２回 WFP-F 作品展６番
アンチキルケ協力自王詰　16 手　６pt

３位　荻絵香木　カピタン展示室 N0.21
協力詰　29 手　　３pt

３位　神無七郎　JIGSAW BOX#3　A-5
最悪詰　49 手　　３pt

３位　小峰耕希　JEWEL BOX#5-8a.b
ナイト王協力千日手・手順 26.22 手　３pt

６位　たくぼん　JEWEL BOX#5-11
協力詰　49 手　　2pt

７位　金少桂　カピタン展示室 N0.22
協力詰　37 手　　1pt

７位　たくぼん　第５回詰四会Ｆ作品展４番
取禁ばか詰　25 手　遍路　　1pt

（注）同位の場合は作者名の五十音順です。

１位　真Ｔ　第３回 WFP-F 作品展第４番
最悪詰 20 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				龍					五
									六
	歩		王		龍				七
玉		金			歩				八
		銀							九

持駒 角

75 香　88 金　99 玉　89 金　同玉　78 銀
同香生　59 龍　79 角　同龍　同玉　13 角
69 玉　79 角成　同玉　13 角　69 玉　79 角成
同香成　58 龍　迄　20 手

受賞コメント　真Ｔ

ありがとうございます。テーマは 13 角×２でしたが、初手 75 香の方に目がいってしまうようでは作りとしては失敗なのかもしれません。しかし、この手は入るのであれば、入れたいですよね…。というわけで入れましたが、どうだったのでしょうか。

橋本孝治　１位

いや一難しかった。中編らしい重厚な変化・紛れの森で遭難するところでした。特に４手目 98 金の変化に出てくる 78 角・ 88 銀の連合発見が重要な鍵でしょう。（変化にしておくには勿体ない！）文句なしに 2008 年一番の中編。

たくぼん　１位

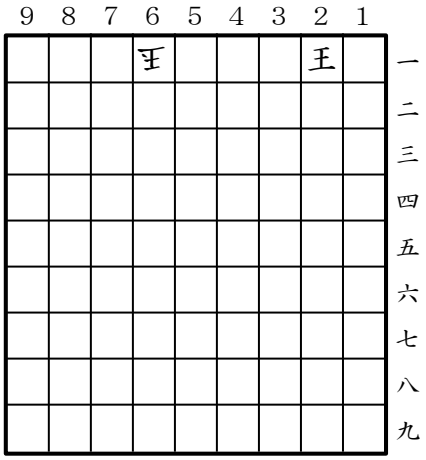
初手 89 角の紛れや４手目 98 金の変化など序盤から中盤の手順が素晴らしい。収束の決め方もすっきりしていて完璧な表現ではないだろうか。

橋圭伍　１位

この作品は素晴らしいと思います。限定打×2 回も然る事ながらそこに至る手順が秀逸

２位　たくぼん　第２回 WFP-F 作品展６

アンチキルケ協力自玉詰 16 手



持駒 飛

71 飛 52 玉 72 飛成 62 桂 61 龍 43 玉
52 龍 34 玉 54 龍 25 玉 65 龍 55 角
62 龍 /28 龍 26 角 37 桂　同角成 /22 馬
迄 16 手

受賞コメント　たくぼん

投票頂きありがとうございました。アンチキルケで双裸玉を捜していたときに偶然嗅覚が働いて見つけたものです。ｆｍにかけて検出解数が１になったのを見たときはかなり興奮しました。たまにはいいこともないとね。

橋本孝治　２位

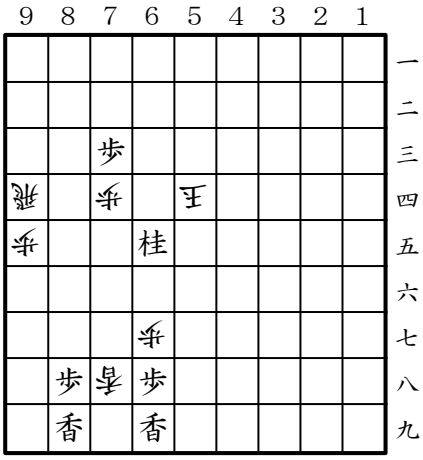
昔アンチキルケの双裸玉で長手数の作品が作れることをもず氏が予言していましたが、実際に形になって現れたのがこの作品。一緒に出題された他の作品がヒントになってなんとか解けましたが、単独で出題されたら解けたかどうか…双裸玉の世界にはきっとまだまだ怪物が眠っている！

橋圭伍　　２位

この形とこの手順を見つけ出したのが素晴らしいです

３位　神無七郎　JIGSAW BOX#3 A-5

最悪詰 49 手



持駒 なし

53 桂成 55 玉 54 圭 66 玉 67 歩 65 玉
64 圭 55 玉 56 歩 44 玉 54 圭　同玉
55 歩 65 玉 66 歩 64 玉 65 歩 63 玉
64 歩 73 玉 63 歩成 83 玉 73 と　同玉
63 香成 83 玉 73 杏 84 玉 74 杏 85 玉
84 杏 86 玉 85 杏 76 玉 77 歩 65 玉
75 杏　同玉 76 歩 86 玉 87 歩 85 玉
86 歩 84 玉 85 歩 83 玉 84 歩 93 玉
83 歩成　まで 49 手

受賞コメント　神無七郎

この作は第２回最悪詰作品展第14番の余詰　筋を元にしています。握り詰の課題に余詰筋が流用できたのは良かったのですが、元の作品の方はいまだに修正できていません。今回の３位入賞を機に、もう少し最悪詰の修行をしたいと思います。

たくぼん　　２位

昨年解けなかった作品の中で一番印象に残っている作品。４手目の６６歩が見えなかったのです。王手の数が増えるのでこれは全く読んでいませんでした。まだまだ修行が足りません。それにしてもこれが握り詰とは驚きですよね。

３位　小峰耕希作　JEWEL BOX #5-8番
ナイト王協力千日手　26 手

後手：持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				と	と	と	と	と	三
				歩	桂	桂	桂	桂	四
			歩						五
			香		龍		ス		六
			香			ス			七
			香		ス		騎		八
		龍	香						九

持駒　なし

b)出発図：上図　到達：下図　22 手
後手：持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				と	と	と	と	と	三
				歩	桂	桂	桂	桂	四
			歩						五
			香		騎		ス		六
			香			ス			七
			香		ス		龍		八
		龍	香						九

持駒　なし

a)
37 龍　16 騎　17 歩　同と　27 龍　35 騎
37 龍　36 歩　26 龍　47 騎　27 龍　37 歩成
36 龍　28 騎　26 龍　27 と左　17 龍　36 騎
16 龍　26 と　25 龍　57 騎　55 龍　36 騎
46 龍　28 騎　まで　26 手

b）
48 龍　16 騎　18 龍　35 騎　15 龍　47 騎
48 歩　同と　17 龍　35 騎　37 龍　36 歩
46 龍　27 騎　47 龍　37 歩成　38 龍　19 騎
39 龍　27 騎　28 龍　46 騎　まで　22 手

受賞コメント　小峰耕希

ナイト王・密室・龍追い・駒取り不可避の４条件があれば何か面白いものができる筈、という勘で発見した図です。千日手２６手の方の「２６と回転」が気に入っていたので、そちらだけの出題にしようか迷ったのですが、市村さんは手順２２手の方が印象深かったそうなので、ツイン出題に。配置ももっと上方にずらして、と金を作る機会を限定すれば、更に凝った手順が出来る可能性もあったと思いますが、結局作者の創作力と根気が続かず。

最近詰将棋熱が低落していて、Messignyが何なのかすら理解していない現状ですが、これまでの自分の趣味の変遷からして、その内また詰熱・フェアリー熱が出て復活する筈ですので、気長にお待ち下さい（笑）

橘圭伍　　３位
出題時に結構悩んで挫折したような。。。
記憶に残っているという事はそれだけ良かったと言う事

神無七郎　次点
外周を回るより中央付近で回った方が良いという不思議な理屈で不利感のある序が成立している。セットで出題されたb)22手はあまり意味が無いと思うので、a)単独の推薦です。
＊セットにて加点しました

３位　荻絵香木　カピタン展示室　No.21
協力詰　29手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					香				一
					龍	と	金	銀	二
						香	角		三
						飛	歩		四
							桂		五
									六
									七
								玉	八
					王				九

持　駒歩

48 龍　38 飛生　19 歩　17 玉　47 龍　37 桂成
18 歩　16 玉　46 龍　36 香　17 歩　15 玉

45 龍 25 歩 16 歩 14 玉 44 龍 34 角
15 歩 13 玉 43 龍 23 金 14 歩 22 玉
13 歩成 11 玉 41 龍 21 銀 12 香
迄　29 手

受賞コメント　荻絵香木

中編の受賞はおかしいと思います。というか、これって中編だったんですね。
７種移動合は、９手くらいで出来たと思いますが、図をどこかへやってしまいました。

たくぼん　　３位

作者は見せる（魅せる）ということをよく知っている。

橋本孝治　次点

最短手数の７種移動合ということで、記録に対して１票。玉が不動のまま２種移動させられたら記録更新の可能性もありそうですが、果たして…？」

６位　たくぼん作　JEWEL BOX #5-11 番
ばか詰　49 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					銀	銀	銀	銀	二
					桂	歩	歩	歩	三
				金	桂				四
				金	桂				五
				金	香				六
				金	香				七
				飛	香			王	八
				飛	香		王	玉	九

持駒 角2

38 角　同玉　16 角　27 角　同角　29 玉
18 角　38 玉　29 角　37 玉　　28 角　26 玉
18 桂　同と　37 角　17 玉　28 角　16 玉
38 角　27 桂　同角　25 玉　17 桂　同と
36 角　16 玉　27 角　15 玉　37 角　26 桂
同角　24 玉　16 桂　同と　35 角　14 玉
36 角　25 桂　同角　15 玉　　24 角　26 玉
15 角　27 玉　36 角　28 玉　37 角　17 玉
29 桂　まで　49 手

橋本孝治

せっかくばか詰独特の楽しい趣向が出るのに、解答者が少なくて残念だった作品。密室型ということで難問だと思われたのでしょうか。

７位　金少桂　カピタン展示室　No.22
協力詰３７手　「１５パズル」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香	玉	玉	玉	王	一
				香	玉	玉	玉	玉	二
				香	玉	玉		玉	三
				香	玉	玉	玉	玉	四
				桂	歩	歩	歩	歩	五
					銀	銀	銀	銀	六
									七
									八
									九

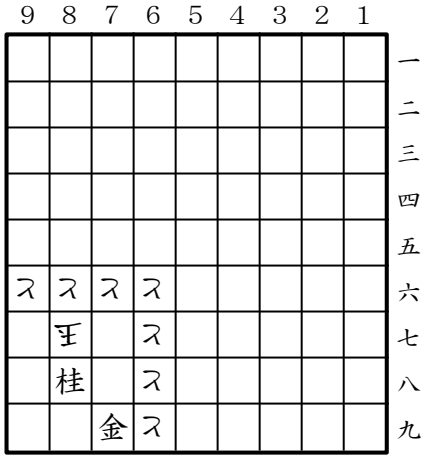
持駒 飛12角5桂2

23 桂　同と左上 12 飛　同玉 11 飛　同と
21 角　同と引 22 飛　同玉 12 飛　同と引
13 角　同と右 23 飛　同玉 22 飛　同と右寄
32 角　同と引 33 飛　同玉 23 飛　同と引
24 角　同と右 34 飛　同玉 33 飛　同と右寄
43 角　同と引 44 飛　同玉 34 飛　同と左上
（同と寄）56 桂　迄　37 手

橋本孝治　　次点

理論が分かれば綺麗に解ける本当にパズルっぽい作。「 15 パズル」より「 48 パズル」として出すべき素材だとは思いますが。

７位　たくぼん作　第５回詰四会Ｆ作品展４番
取禁ばか詰 25 手「遍路」



持駒 銀

78 金　97 玉　87 金　98 玉　97 金　99 玉
98 金　89 玉　99 金　78 玉　89 金　87 玉
98 金　77 玉　87 金　78 玉　77 金　79 玉
78 金　89 玉　79 金　98 玉　89 金　97 玉
98 銀　まで　25 手

橋本孝治　　次点

この作が示すのは、取禁ルールは倉庫番型パズルが作れるルールだということ。もっと開拓が望まれるルールです。」

【中編部門・総評】

橋本孝治

７作投票はちょっと多いかもしれませんが、投票数に上限がないのを良いことに、どんどん票を入れることにしました。余詰がなければまだ入れたい作もあったくらいです。」

橋圭伍

迷いなしでした。記憶に残る３作を選出。甲乙は付け難いですが個人的な好みで順位付けをしました

【 長 編 部 門 】

投票者：酒井博久、橋本孝治、橋圭伍、たくぼん

長編部門は、文句なしの満票で荻絵香木さんの「チェイン」が１位でした。唯一の正解者が自分で、苦労して解いた甲斐があって私ごとのように嬉しいです。今一度 OFM の解説を読んでその素晴らしさを味わっていただきたいですね。

２位と３位は神無七郎さんが独占。チェインが無ければどの作も１位を獲ってもおかしくない作品群です。でも今期は仕方ない七郎さんはそう思っていることでしょう。

【得票順】

１位　荻絵香木　OFM132回出題
　　ばか詰　207 手　チェイン　　２０pt

２位　神無七郎　OFM135回出題
　　PWC 打歩ばか詰　427 手　　６pt

３位　神無七郎　OFM140回出題
　　攻方取禁協力詰　217 手　　４pt

３位　神無七郎　Fairy of the Forest#14-8
　　協力詰　91手　　４pt

５位　荻絵香木　Fairy of the Forest#15-9
　　協力詰　87手　　３pt

６位　たくぼん　第５回 WFP-F 作品展４番
　　強欲ばか詰　83手　　２pt

７位　荻絵香木　第４回詰四会Ｆ作品展９番
　　協力詰　139 手　　１pt

７位　小林看空　Fairy of the Forest#15-7
　　協力詰　55手　草競馬　　１pt

（注）同位の場合は作者名の五十音順です。

1位　荻絵香木作　OFM132回出題
ばか詰 207 手　「チェイン」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
香		銀	銀		歩	金	歩		二
	歩	歩	桂	歩		歩	歩		三
				角			銀	王	四
飛	金								五
		銀		金	桂			歩	六
			桂	桂					七
	香	金				香			八
王		馬				飛			九

持駒 歩10

69 馬　25 銀　15 歩　同玉　59 馬　26 銀
16 歩　14 玉　69 馬　36 角　94 飛　84 金
15 歩　同玉　95 飛　75 金　16 歩　14 玉
94 飛　74 金　15 歩　同玉　95 飛　65 金
16 歩　14 玉　94 飛　64 金　15 歩　同玉
95 飛　55 金上　16 歩　14 玉　94 飛　54 金
15 歩　同玉　95 飛　45 金　16 歩　14 玉
94 飛　44 金　15 歩　同玉　95 飛　35 金
16 歩　14 玉　94 飛　34 金　15 歩　同玉
95 飛　25 金　16 歩　14 玉　15 歩　24 玉
94 飛　35 玉　95 飛　44 玉　94 飛　55 玉
95 飛　64 玉　94 飛　75 玉　95 飛　86 玉
59 馬　77 金　96 飛　75 玉　95 飛　64 玉
94 飛　55 玉　95 飛　44 玉　94 飛　35 玉
95 飛　24 玉　94 飛　15 玉　16 歩　同金
95 飛　14 玉　94 飛　54 角　69 馬　15 玉
95 飛　35 銀　59 馬　25 玉　69 馬　26 玉
59 馬　36 玉　69 馬　37 玉　59 馬　47 玉
69 馬　57 玉　79 馬　47 玉　69 馬　37 玉
59 馬　36 玉　69 馬　26 玉　59 馬　25 玉
69 馬　15 玉　59 馬　14 玉　69 馬　36 角
94 飛　15 玉　59 馬　26 銀　95 飛　14 玉
94 飛　54 角　69 馬　58 桂成　15 歩　13 玉
79 馬　68 圭　14 歩　同玉　69 馬　15 玉
95 飛　35 銀　59 馬　14 玉　69 馬　36 角
94 飛　15 玉　59 馬　26 銀　95 飛　24 玉
94 飛　35 玉　95 飛　44 玉　94 飛　55 玉
95 飛　64 玉　94 飛　75 玉　95 飛　86 玉
96 飛　87 玉　69 馬　78 圭　97 飛　86 玉
96 飛　75 玉　95 飛　64 玉　94 飛　55 玉
95 飛　44 玉　94 飛　35 玉　95 飛　24 玉
94 飛　15 玉　95 飛　35 銀　59 馬　14 玉
94 飛　54 角　69 馬　15 玉　59 馬　26 金
16 歩　25 玉　69 馬　36 銀　95 飛　24 玉
79 馬　14 玉　15 歩　まで　207 手

受賞コメント　荻絵香木

割とよくできていると思います。龍と馬で、鋸引き趣向を組み合わせられたら面白いかな、と思って作り始め、手数が伸びる方向へ、行き当たりばったりに改良していったら、あんな感じになりました。まあ、テキトーにプロトタイプ作って、 fm にかけて、余詰があったら消して、テキトーに配置を変えて、 fm にかけて、余詰があったら消して、手数が伸びたら採用して……、の繰り返しなので、誰でも作れると思います。形式的にきれいになったのは偶然です。玉鋸が３往復以上する作品を誰か作ってください。

酒井博久
今期はこれで決まりでしょう。

橋本孝治
２つの駆動系が複雑に絡み合う高度なパズル。自分が解答者として参加できなかったのが残念に思える作品でした。今期の長編部門ではこれが他を圧倒していると思います。

橘圭伍
傑作。迷う事無く１位に選出。言う事はないです

たくぼん
文句なし！謎解きの部分が素晴らしすぎ。

2位　神無七郎作　OFM135回出題
PWC 打歩ばか詰　427 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
金	歩	金		銀	銀			銀	六
歩	王	歩	歩	香	香	香	香	桂	七
		马	马	马	马	马	马	歩	八
		马	马	马	马	马	马	角	九

持駒 金

98 金　同玉 /87 金　88 金　99 玉　98 金　89 玉

88 金　同と /78 金　79 金 /78 と　98 玉　89 金
87 玉　98 金　同玉 /87 金　88 金 /87 と　99 玉
98 金　89 玉　88 金　同と寄 /78 金　79 金
98 玉　89 金　同玉 /98 金　99 金　78 玉
88 金 /99 と　79 玉　78 金　同と寄 /68 金
69 金 /68 と　88 玉　79 金　同玉 /88 金
78 金 /88 と　同と左 /68 金　69 金　89 玉
79 金　98 玉　89 金　同玉 /98 金　88 金 /98 と
79 玉　89 金　68 玉　78 金 /89 と　69 玉　68 金
同と /58 金　59 金 /58 と　78 玉　69 金
同玉 /78 金　68 金 /78 と　同と左 /58 金　59 金
79 玉　69 金　88 玉　79 金　同玉 /88 金
78 金 /88 と　69 玉　79 金　58 玉　68 金 /79 と
59 玉　58 金　同と /48 金　49 金 /48 と　68 玉
59 金　同玉 /68 金　58 金 /68 と
同と左 /48 金　49 金　69 玉　59 金　78 玉　69 金
同玉 /78 金　68 金 /78 と　59 玉　69 金　48 玉
58 金 /69 と　49 玉　48 金　同と /38 金
39 金 /38 と　58 玉　49 金　同玉 /58 金
48 金 /58 と　同と左 /38 金　39 金　59 玉
49 金　68 玉　59 金　同玉 /68 金　58 金 /68 と
49 玉　59 金　38 玉　48 金 /59 と　39 玉　38 金
同と /28 金　29 金 /28 と　48 玉　39 金
同玉 /48 金　38 金 /48 と　49 玉　39 金　58 玉
49 金　同玉 /58 金　48 金 /58 と　39 玉　38 金
同と /28 金　29 金　48 玉　38 金 /29 と　49 玉
48 金　39 玉　28 角　同と /29 角　38 金
29 玉 /39 角　28 金 /38 と　19 玉　29 金
同桂成 /17 金　28 角　同圭 /29 角　18 金 /17 歩
29 玉 /19 角　28 金 /18 圭　39 玉　38 金 /28 と
49 玉　48 金　39 玉　28 角 /19 と　同圭 /18 角
38 金　同圭 /28 金　29 金　48 玉　38 金 /29 圭
49 玉　48 金　同と /58 金　59 金 /58 と　38 玉
49 金　同玉 /38 金　48 金 /38 と
同と右 /58 金　59 金　39 玉　49 金　28 玉　39 金
同玉 /28 金　38 金 /28 と　49 玉　39 金　58 玉
48 金 /39 と　59 玉　58 金　同と /68 金
69 金 /68 と　48 玉　59 金　同玉 /48 金
58 金 /48 と　同と右 /68 金　69 金　49 玉　59
金　38 玉　29 角 /18 圭　同と上 /28 角　49 金
同玉 /38 金　48 金 /38 と　59 玉　49 金　68 玉
58 金 /49 と　69 玉　68 金　同と /78 金
79 金 /78 と　58 玉　69 金　同玉 /58 金
68 金 /58 と　同と右 /78 金　79 金　59 玉
69 金　48 玉　39 角 /28 と　同と直 /38 角
59 金　同玉 /48 金　58 金 /48 と　69 玉　59 金
78 玉　68 金 /59 と　79 玉　78 金
同と寄 /88 金　89 金 /88 と　68 玉　79 金
同玉 /68 金　78 金 /68 と　同と右寄 /88 金
89 金　69 玉　79 金　58 玉　49 角 /38 と
同と直 /48 角　69 金　同玉 /58 金　68 金 /58 と
79 玉　69 金　88 玉　78 金 /69 と　89 玉　88 金
79 玉　89 金　68 玉　59 角 /48 と
同と右 /69 角　79 金　同玉 /68 金　78 金　89 玉
88 金　同と寄 /98 金　78 角　同と上 /87 角
88 金 /98 と　79 玉　89 金　68 玉　79 金
同玉 /68 金　69 金　89 玉　98 角 /87 と　88 玉
79 金　同玉 /88 金　89 金　68 玉　78 金 /89 と
69 玉　68 金　同と /58 金　87 角 /98 と　78 歩
68 金 /58 と　79 玉　69 金　88 玉　79 金
同玉 /88 金　89 金 /88 と　68 玉　78 金　69 玉
68 金　79 玉　78 金　同と /88 金　89 金　68 玉
79 金　同玉 /68 金　69 金　89 玉　98 角 /87 と
88 玉　79 金　同玉 /88 金　89 金　68 玉
78 金 /89 と　69 玉　68 金　同と /58 金
59 金 /58 と　78 玉　69 金　同玉 /78 金
68 金 /78 と　同と左 /58 金　59 金　79 玉
69 金　88 玉　79 金　同玉 /88 金　78 金 /88 と
69 玉　79 金　58 玉　68 金 /79 と　59 玉　58 金
同と /48 金　49 金 /48 と　68 玉　59 金
同玉 /68 金　58 金 /68 と　同と左 /48 金　49 金
69 玉　87 角 /98 と　78 と左　同角 /87 と
68 玉　59 金　同玉 /68 金　69 金　48 玉
58 金 /69 と　49 玉　48 金　同と /38 金
39 金 /38 と　58 玉　49 金　同玉 /58 金
48 金 /58 と　同と左 /38 金　39 金　59 玉
49 金　68 玉　59 金　同玉 /68 金　58 金 /68 と
49 玉　59 金　38 玉　48 金 /59 と　39 玉　38 金
同と /28 金　29 金 /28 と　48 玉　39 金
同玉 /48 金　38 金 /48 と　同と左 /28 金　29 金
49 玉　39 金　58 玉　69 角 /78 と
同と直 /68 角　49 金　同玉 /58 金　48 金 /58 と
39 玉　49 金　28 玉　38 金 /49 と　29 玉　28 金
同圭 /18 金　19 金 /18 と　38 玉　29 金
同玉 /38 金　28 金 /38 圭　同と /18 金　19 金
39 玉　29 金　48 玉　59 角 /68 と
同と直 /58 角　39 金　同玉 /48 金　38 金 /48 圭
29 玉　39 金　18 玉　28 金 /39 と　19 玉　18 金
29 玉　19 金　38 玉　49 角 /58 と
同と左 /39 角　29 金　同玉 /38 金　28 金
39 玉 /29 角　38 金　同圭 /48 金　49 金 /48 と
28 玉　38 金 /49 圭　29 玉 /28 角　39 金　18 玉
19 歩　まで　427 手

受賞コメント　神無七郎

昨年はなぜか「 PWC 」や「取禁」で地底を掘削するような長編を作るのに凝っていました。イメージ的には「倉庫番」のようなパズルを目指していたのですが、手順を改めて鑑賞すると、趣向作にたまたま難しい手順が入っただけ

の作に見えてしまいます。特に作者が意図して難しくしようとした右辺の折衝より、自然形の左辺の折り返し手順の方が難しいというのは、詰将棋の神秘か、はたまた作者の力不足か……

橘圭伍　　２位

この形で唯一解・・・驚愕ですね。手順も良いです

たくぼん　　２位

あれだけ考えたのだから賞を獲って貰わなくては困る。謎解き部分でチェインに１位を譲ったが、充分１位の価値はある。

３位　神無七郎作　OFM140回出題
攻方取禁協力詰　217 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
ス	ス	ス	ス	ス		王			四
ス	ス	ス	ス	ス			ス		五
歩	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	歩	六
ス	歩	歩	歩	歩	歩	歩	ス	王	七
馬	ス	ス	ス	ス	ス	ス	歩		八
	と	と	と	と	と	と	と		九

持駒 歩43

18 と　同玉　29 と　同歩成　19 歩　17 玉
18 歩　28 玉　39 と　同玉　49 と　同玉
59 と　同玉　69 と　同玉　79 と　同玉
89 馬　69 玉　79 馬　59 玉　69 馬　49 玉
59 馬　39 玉　49 馬　28 玉　39 馬　18 玉
19 歩　同と　29 馬　17 玉　18 歩　同と上
39 馬　27 玉　28 歩　同と右　49 馬　38 と左
28 歩　同玉　29 歩　同と右　39 馬　27 玉
49 馬　38 歩成　28 歩　同玉　39 馬　27 玉
28 歩　同と右　49 馬　37 玉　38 歩　同と右
59 馬　48 と左　38 歩　同玉　39 歩　同と右
49 馬　37 玉　59 馬　48 歩成　38 歩　同玉
49 馬　37 玉　38 歩　同と右　59 馬　47 玉
48 歩　同と右　69 馬　58 と左　48 歩　同玉
49 歩　同と右　59 馬　47 玉　69 馬　58 歩成
48 歩　同玉　59 馬　47 玉　48 歩　同と右
69 馬　57 玉　58 歩　同と右　79 馬　68 と左
58 歩　同玉　59 歩　同と右　69 馬　57 玉
79 馬　68 歩成　58 歩　同玉　69 馬　57 玉
58 歩　同と右　79 馬　67 玉　68 歩　同と右
89 馬　78 と左　68 歩　同玉　69 歩　同と右
79 馬　67 玉　89 馬　78 歩成　68 歩　同玉
79 馬　67 玉　68 歩　同と右　89 馬　77 玉
78 歩　同と右　99 馬　88 と寄　78 歩　同玉
79 歩　同と右　89 馬　77 玉　99 馬　88 歩成
78 歩　同玉　89 馬　77 玉　67 馬　87 玉
77 馬　96 玉　78 馬　87 と寄　97 歩　同玉
98 歩　同玉　99 歩　同と　89 馬　97 玉
98 歩　同と上 88 馬　96 玉　78 馬　97 玉
96 馬　88 玉　89 歩　同と左　97 馬　78 玉
96 馬　87 と左　79 歩　88 玉　97 馬　77 玉
78 歩　同と上　88 馬　76 玉　77 歩　同と左
87 馬　66 玉　67 歩　同と上　76 馬　56 玉
57 歩　同と上　66 馬　46 玉　47 歩　同と上
56 馬　36 玉　37 歩　同と上　45 馬　26 玉
44 馬　15 玉　33 馬　14 玉　32 馬　13 玉
23 馬　まで　217 手

受賞コメント　神無七郎

こちらも地下掘削物ですが、普段趣向作を作るときにいつも駒不足に悩まされるので、そのストレス解消を兼ねて標準の駒数を遙かにオーバーする作品にしています。普段ダイエットのため少食で我慢している女性が、たまに「贅沢」で甘い物をお腹一杯食べる時もこんな心境なのでしょうか？これからもメタボにならない程度に、標準駒数オーバー作品を手掛けようと思います。

橘圭伍　　３位

今期は何作か氏の攻方取禁があるがこれが秀逸かなぁと思います。他も捨てがたいですが・・・

たくぼん　　３位

歩が足りなくて動く盤面をわざわざ創って解いた思い出の作。 86 とを動かさずに 76 に穴を開ける。これに気がつくまでかなりの時間を費やしました。気づいたときの嬉しかったこと。解こうとして苦しんだ人だけに分かるこの喜びを伝えるのは難しいことです。

3位　神無七郎 Fairy of the Forest #14-08
協力詰 91 手

持駒 歩5

26 角　24 玉　15 角　35 玉　26 角引　24 玉
35 角　14 玉　26 桂　15 玉　14 桂　26 と寄
同角引　24 玉　15 角　35 玉　24 角　36 玉
37 歩　26 玉　35 角　15 玉　36 歩　26 と
同角引　24 玉　15 角　25 玉　26 歩　36 玉
37 歩　35 玉　24 角　26 玉　35 角　15 玉
36 歩　26 桂　同角引　24 玉　35 角　25 玉
26 歩　15 玉　25 歩　26 桂　同角引　25 玉
37 桂　24 玉　35 角　14 玉　26 桂　15 玉
24 角　26 玉　35 角　15 玉　25 桂　26 桂
同角引　24 玉　15 角　25 玉　26 歩　36 玉
37 歩　35 玉　24 角　26 玉　35 角　15 玉
36 歩　26 桂　同角引　24 玉　35 角　25 玉
26 歩　15 玉　25 歩　26 桂　同角引　25 玉
37 桂　24 玉　35 角　15 玉　27 桂　14 玉
26 桂　まで　91 手

受賞コメント　神無七郎

これは昨年発表した自作の中で一番気に入っているものです。「桂跳ねのある作品」という課題への応募だったのですが、詰将棋作家で「桂跳ね」が好きな人は結構多いんじゃないでしょうか。特に趣向詰作家は駒の動きを中心に作品を組み立てるので、“形式”よりも“動作”を課題として与えられた方が作りやすいように思います。

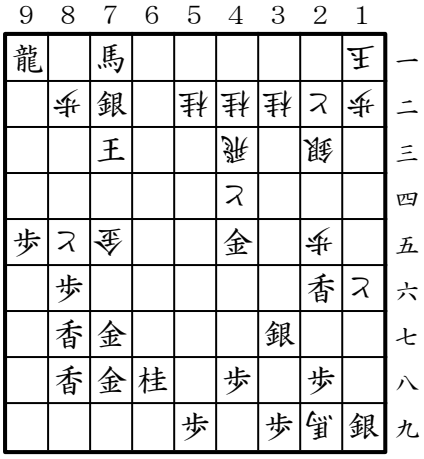
酒井博久　　2位

本質を捉えた解説ができなかったお詫びもこめて。

たくぼん　　次点

今回唯一解図していない作品。昨年春の超多忙時期と重なってしまい時間が取れませんでした。手順は並べてみたのですが、実際解図していないのでなかなか理解できませんでした。それにしても何回並べてもこの内容は凄いと思います。この作品が埋もれてしまってはいけません。

5位　荻絵香木 Fairy of the Forest #15-09
協力詰 87 手



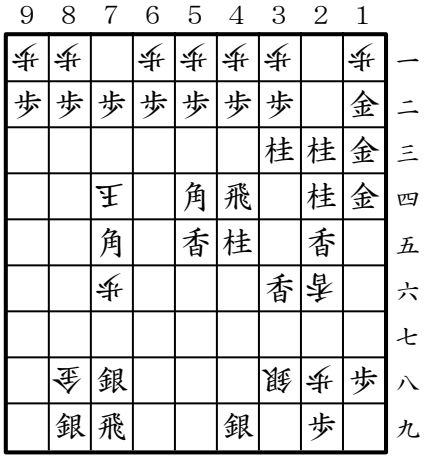
持駒 なし

53 馬　81 香　同龍　71 歩　同龍　61 歩　同龍
51 歩　同龍　41 歩　同龍　31 歩　同龍　21 と
同龍　同玉　22 香　31 玉　21 香成　41 玉　31 杏
51 玉　61 銀成　同玉　62 歩　71 玉　61 歩成
81 玉　71 と　91 玉　81 と　同玉　63 馬　71 玉
72 歩　81 玉　71 歩成　91 玉　81 と　92 玉　82
と　93 玉　92 と　同馬　94 歩　同玉　95 歩　同
玉　96 歩　同玉　97 歩　同玉　98 歩　同玉　99
歩　89 玉　79 金　同玉　78 金　69 玉　79 金　59
玉　69 金　49 玉　59 金　39 玉　49 金　29 玉　18
銀　同玉　44 金　27 と　19 歩　17 玉　18 歩　16
玉　17 歩　15 玉　16 歩　24 玉　34 金　13 玉　24
金　22 玉　23 金　11 玉　22 銀　まで　87 手

橋本孝治　　2位

連合いあり伏線ありの贅沢な手順が楽しめる周辺巡り。条件作はともすれば「条件を満たしただけ」に終わりがちなものですが、この作品は違います。

6位　たくぼん　第５回 WFP-F 作品展４番
強欲ばか詰　83 手



持駒 なし

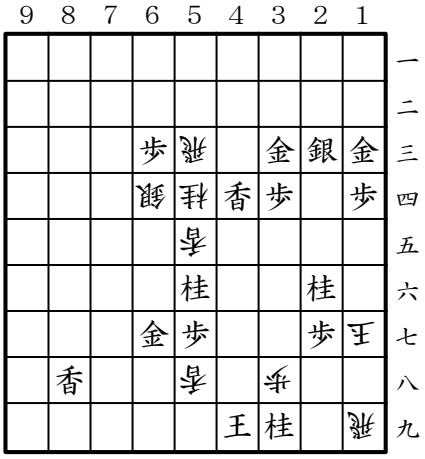
76 角　75 玉　74 飛　同玉　65 角　同玉
69 飛　55 玉　59 飛　45 玉　55 飛　36 玉
56 飛　25 玉　26 飛　同玉　27 香　同玉
28 歩　同玉　29 歩　同玉　38 銀　18 玉
27 銀　同玉　16 銀　同玉　15 金　同玉
14 金　同玉　13 金　同玉　12 桂成　同玉
11 桂成　同玉　21 桂成　同玉　31 歩成　同玉
41 歩成　同玉　51 歩成　同玉　61 歩成　同玉
71 歩成　同玉　81 歩成　同玉　91 歩成　同玉
92 歩　同玉　93 歩　同玉　94 歩　同玉
95 歩　同玉　96 歩　同玉　97 歩　同玉
88 銀　同玉　89 金　97 玉　98 歩　86 玉
87 歩　76 玉　77 銀　87 玉　88 銀　96 玉
97 歩　86 玉　87 銀　97 玉　98 金　迄　83 手

橋本孝治　　次点
解いた時には気付きませんでしたが、全生駒煙だったのですね。強欲詰の新たな可能性を教えてくれた作。

橘圭伍　　次点
強欲の新展開を示した作品。１票投じます

7位　荻絵香木　第４回詰四会 F 作品展９番
ばか詰 139 手

後手：持駒歩４

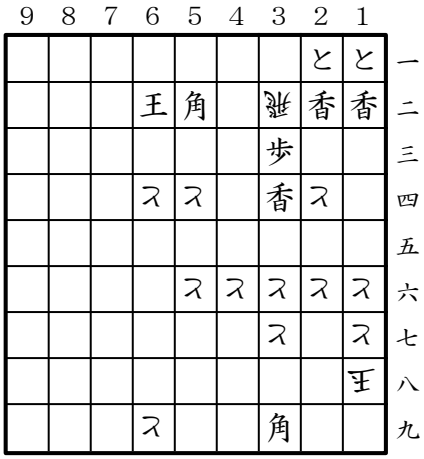


持駒 角2

28 角　同玉　46 角　37 角　同角　同玉
59 角　48 角　同角　46 玉　37 角　35 玉
46 角　同玉　24 角　35 角　同角　37 玉
59 角　48 歩　同角　28 玉　37 角　17 玉
28 角　同玉　46 角　37 角　同角　同玉
59 角　48 角　同角　46 玉　37 角　35 玉
46 角　同玉　24 角　35 角　同角　37 玉
59 角　48 歩　同角　28 玉　37 角　17 玉
28 角　同玉　46 角　37 角　同角　同玉
59 角　48 角　同角　46 玉　37 角　35 玉
46 角　同玉　24 角　35 角　同角　37 玉
59 角　48 歩　同角　28 玉　37 角　17 玉
28 角　同玉　46 角　37 角　同角　同玉
59 角　48 角　同角　46 玉　37 角　35 玉
46 角打　同桂　同角　同玉　47 歩　45 玉
46 歩　54 玉　66 桂　65 玉　76 金　同玉
77 歩　同玉　78 歩　88 玉　89 歩　87 玉
88 歩　86 玉　87 歩　85 玉　86 歩　84 玉
85 歩　83 玉　84 歩　72 玉　64 桂　61 玉
62 銀　まで　139 手

橋本孝治　　次点
ケアレスミスで誤解したのでとても印象に残っています（汗）

７位　小林看空　Fairy of the Forest　#14-07
協力詰 55 手「草競馬」



持駒 桂4歩3

19 歩　同玉　28 角　同玉　29 歩　27 玉
28 歩　同と右　19 桂　37 玉　29 桂　47 玉
59 桂　57 玉　49 桂　66 玉　67 歩　65 玉
66 歩　55 玉　67 桂　45 玉　57 桂　35 玉
27 桂　25 玉　17 桂　14 玉　15 歩　13 玉
14 歩　同と　25 桂　23 玉　15 桂　同と引
13 桂成　24 玉　14 圭　25 玉　15 圭　35 玉
25 圭　44 玉　45 歩　同と上　35 圭　54 玉
55 歩　同と上　45 圭　同と寄　55 歩　64 玉
65 歩　まで　55 手

橋本孝治

収束にちょっと考えさせられる桂追い。途中からほとんど単騎追い状態になるので、四桂詰の期待は外れましたが、それでも題名通り楽しい作でした。」

【長編部門・総評】

橋本孝治

長編は作品数不足より作家数不足が問題。「チェイン」のおかげで質の問題はありませんでしたが。次期は新人の長編参入を期待します。

橋圭伍

こちらも３位以外は迷いなしです。長編は当り年と言える位好作揃いだったと思います。中でも、「チェイン」構想という面で断突だったと思います

【推理将棋・プルーフゲーム部門】

投票者：はらたっと、橋本孝治、竹野龍騎、高坂研、ｄｓｋ、橋圭伍、たくぼん

今回より単独部門となった推理将棋・プルーフゲーム部門には７名より投票頂きました。ありがとうございました。

１位に輝いたのは魚熊さんの「駒の活用」でした。 Fairy Top Ⅸの対象ではありませんが、昨年詰パラに発表された中村圭吾氏の傑作と肩を並べる桂の舞は解答者を唸らせました。

２位には新人？意表の初手！三日京氏の「古図式発見！」と叙述トリックの先駆け的傑作タラパパ氏の「ミスディレクション」が共に１pt差で入りました。

投票状況を見るとポイント獲得した作品は１９作にものぼり、実際に解図したかどうかや簡単に解けたかどうかによって評価が人それぞれ違ってきているという傾向が見てとれます。それが推理将棋・PGの難しい所であり楽しい所でもあるのでしょう。

【得票順】

１位　魚熊　詰将棋メモ17-3
　推理将棋　駒の活用　11手　　１１pt

２位　三日京　詰将棋メモ16-3
　推理将棋　古図式発見！12手　　１０pt

２位　タラパパ　詰将棋メモ12-2
　推理将棋　ミスディレクション　１０pt

４位　竹野龍騎　第４回 WFP-F 作品展推１
　プルーフゲーム　12手　　７pt

５位　中村雅哉　第５回詰四会Ｆ作品展５番
　推理将棋　どうご温泉　14手　　６pt

６位　橋圭伍　第３回 WFP-F 作品展推２
　プルーフゲーム　12手　　５pt

６位　橋圭伍　詰将棋メモ11-2
　推理将棋　油断大敵？　９手　　５pt

６位　はらたっと　詰将棋メモ18-2
　推理将棋　どっちの成でショー９手　５pt

９位　かずひで　詰将棋メモ 9-3　推理将棋
　よく見るとちょっと違う　11手　３pt

９位　橘圭伍　第１回 WFP-F 作品展推２
　プルーフゲーム　13手　３pt

11位　神無七郎　第４回詰四会 F 作品展17番
　推理将棋　10手　２pt

11位　まじー　詰将棋メモ10-3
　推理将棋　銀の横の馬　２pt

11位　花井秀隆　詰将棋メモ14-3
　推理将棋　王頭の角　10手　２pt

14位　魚熊　詰将棋メモ17-1
　推理将棋　豆腐将棋　11手　１pt

14位　橘圭伍　JEWEL BOX#5-5
　プルーフゲーム　16手　1pt

14位　橘圭伍　第２回 WFP-F 作品展推２
　プルーフゲーム　11手　１pt

14位　橘圭伍　第３回 WFP-F 作品展推４
　プルーフゲーム　13手　１pt

14位　タラパパ　詰将棋メモ12-3
　推理将棋　小金持ち　１pt

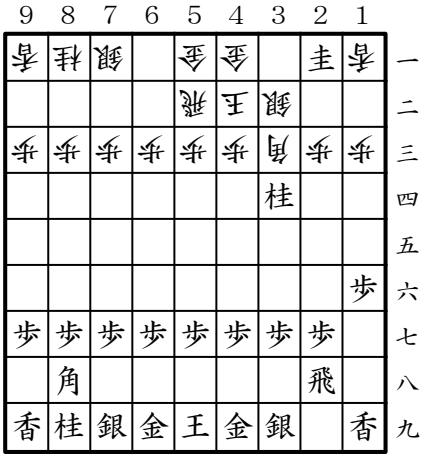
14位　まさ　詰将棋メモ　9-2
　推理将棋　無謀な突撃　10手　１pt

（注）同位の場合は作者名の五十音順です。

１位　魚熊作　「駒の活用」　１１手
詰将棋メモ　17-3

「また 11 手で詰まされちゃったよ」
「どんな将棋だったんだい？」
「いろんな駒を使わなきゃだめだって言われたんで、王も含めて５種類の駒を動かしたんだ」
「うん。それで？」
「でも相手は最初に端歩を突いた後、１種類の駒しか使わなかったんだよ」
「それだけじゃ判らないな。他に何を覚えてる？」
「えーっと、４手目に金を動かしたな。あ、そうだ、大駒を続けて動かしたよ」

16 歩　42 玉　17 桂　51 金右
25 桂　32 銀　33 桂生　52 飛
21 桂成　33 角　34 桂　迄　11 手
詰上図



持駒 歩

受賞コメント　魚熊
今回は拙作が推理将棋部門で第１位に選ばれたとのことで、正直驚いています。私自身、今回の投票対象になっている作品に知らない（そして解けていない）作品もあるため投票を見送ったこともあり、このような結果となることは夢想だにしませんでした。推理将棋歴１年であり、mixiコミュニティー内でもまだ新参者に属する私が選ばれていいのかと思っています。

この問題は、タラパパさんの作品に誤解答したことから始まりました。その解答に対するタラパパさんの返信に以下の記述がありました。
> しかし、この解答にはひっくり返るほど驚きました。
> なんという斬新な手順！私の知る限り恐らく、誰も発表していない新手順です。
> 魚熊さん作として”できるだけ作意を隠しつつ”、適切な条件を付けて出題＞されることを望みます。（一部魚熊にて編集）
　mixiの推理将棋コミュに参加して間もないころのことでしたので、

> 普通なら誰もが「角」を考える筈ですから、大盲点を突くことになります。
（前記タラパパさんのメールより）
この紛れを故意に残したことで、余詰検討力もないままコミュ内で出題した際も当時の２大強力解答者であった、橘圭吾さんとまささんから再三の余詰指摘を受けました。それでも数回の修正で、余詰も無くすことができました。
> 手順で優れている点は、多くの問題のネックになっている条件文で
>『成・不成に触れる必要がない』ことでしょう。
> 詰将棋で言えば、詰パラの半期賞に匹敵するほど好手順だと感じました。
> 傑作になりますすよ～ぉ（＾＾）/
> ぜひぜひ上手く条件化してくださることを、切に、切に願います。
（再び前記タラパパさんのメールより）
私の条件設定はタラパパさんの想定よりも良心的だったようで（氏の後のメールによる）多少は易しくなったようですが、”苦労して解けるくらいが自分にとって良い問題”という言葉もあるように、今回程度の条件設定がかえってよかったのだと思っています。いずれにせよ、この手順に注目し私の尻を叩いてくださったタラパパさんの慧眼と、不十分な条件設定に対し余詰指摘と条件設定の方法をご指導くださった、橘さん、まささんに、感謝いたします。

橋本孝治　１位
桂４段跳を実現したいのに、条件で桂に一言も言及しないところに作者の意地を感じます。自分が解いた中では一番印象に残っている作です。

高坂研　　２位
攻方桂の４段跳ねを見事に作品化している。角を使う紛れが強烈！

はらたっと　３位
桂馬の四段跳ねというあざやかな手順。自力で２１の桂馬をとって吊るし桂。９７歩からの角の筋を散々よまされたので最近では一番印象に残りました。最終的には自分が解けたスッキリ感もプラスしてます。

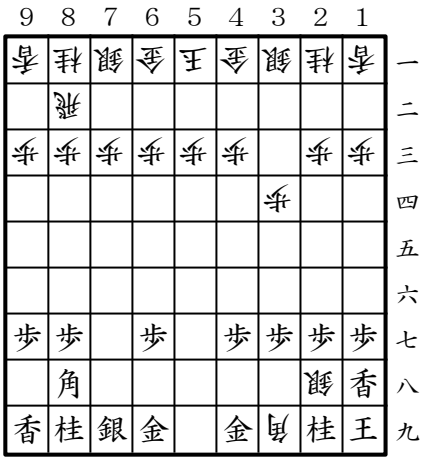
たくぼん　次点
ヒネクレ者の為、角を読まなかったので素直に解けました。角から読んでいれば評価もグンとアップした気がします。

２位　三日京　「古図式発見！」　１２手
詰将棋メモ　16-3

「古い文献を調べていたら、こんなのが出てきたんだけど」
「どれどれ、これは２１世紀初期の推理将棋だね。ここに条件が書いてある」
「図面も棋譜もないみたいだから、推理するしかないね」
「１２手で端で詰んだ」
「後手は不成で駒を４枚取った、か」
「他に、初手と最終手は小駒の手と書いてあるぞ」
「なるほど、分かったぞ！」

昔の推理将棋って、どんな手順だったのでしょうか。

18 香　34 歩　68 飛　77 角生
48 玉　68 角生　38 玉　57 角生
28 玉　39 角生　19 玉　28 銀
迄　１２手で詰み
詰上図



持駒　なし

受賞コメント　三日京
初めて作った推理将棋が受賞とは、大変驚いています。これを機に、いっそう推理将棋の創作に励みたいと思います。ありがとうございました

はらたっと　２位
１２手という推理将棋にとって長手数でありながら３条件で余詰がないすばらしい作品だ

と思います。手順も見事。自分が解けた問題というのも選考作品の重要な要素でした。」

ｄｓｋ　２位

飛車打ちまでの詰みの紛れが多く、15から95まで全部読まされました。これでよく余詰がなかったものです。

たくぼん　２位

この初手は衝撃ですよね。

高坂研　次点

コメントなし

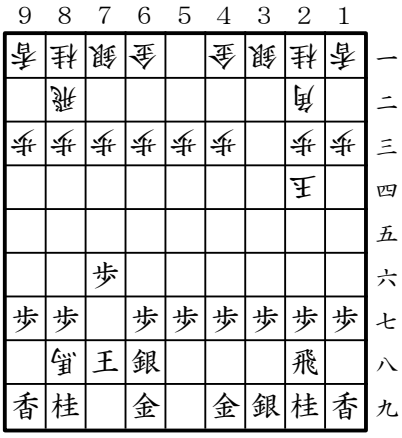
２位　タラパパ作　詰将棋メモ　12-2

ミスディレクション　10 手

「１０手で詰ませたと聞いたけど」
「駒を成ったのは玉の斜め下に打った角が直後に成る一手だけで、
　持駒を余さずに詰めることができたよ」
「それだけじゃ判らないんだけど」
「これだけで判る筈さ。悩んだらタイトルを見るといいよ」

76 歩 42 玉 33 角生　同玉 68 玉 24 玉
78 玉 33 角打 68 銀 88 角成
迄１０手で詰み

詰上図



持駒 歩

受賞コメント　タラパパ

選考対象外にあまたの傑作を知っているだけに、受賞は恥ずかしいのですが、自分でも好きな作品なので、正直に喜びが先行してしまいます。

作品のほうといえば、条件文で解答者をひっかけてやろいとという意地悪極まるものなのに、そんな作品を評価いただいてありがとうございます（汗）
詰める側の後手玉が、ひょこひょこ４段目まで出て行く意外性を、比較的短手数で表現できたかな？とは思っています。

高坂研　　１位

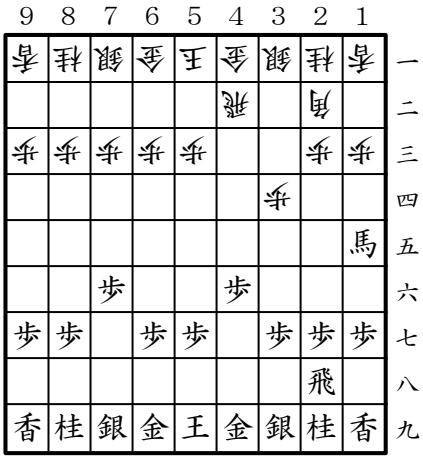
去年のおもちゃ箱の中では一番印象に残っている。何て言ったって解けなかったんだから！

たくぼん　　１位

叙述トリックの先駆的作品。後に続く作品への影響などを考えればその存在価値はぴか一。

４位　竹野龍騎　第４回 WFP-F 作品展推１番
Proof Game　　12 手

後手：持駒　歩



持駒 なし

76 歩 34 歩 33 角成 42 飛 43 馬 62 玉
33 馬 47 飛生 15 馬 42 飛生 46 歩 51 玉
迄　12 手

橘圭伍　１位

現在発表された PG の中でも上位５本に入ると思われる作品

竹野龍騎　３位

スイッチバック３種、特に、玉自らが避けて戻る。かろうじて軽い謎解きになっているかと。

５位　中村雅哉　第５回詰四会Ｆ作品展５番
推理将棋『どうご温泉』 14 手

（同５温泉ニュースより）
×月×日、温泉試掘場で発見された古文書は、調査の結果 ×× 時代に指された将棋の棋譜と判明した。古文書は腐食が著しく、以下の部分しか判別できない。

『・・・、・・・、・・・歩、同・・・、
・・歩、同・・・、・・・、同・・・、
・・・、・・・、・・・、
同・・・、・・・、同龍まで 14 手で詰み。』

「、」は１手毎の区切りで「・・・」は判別不能部分である。

同５温泉町はこの手順を推理できた人に年間無料入浴券を提供するとしている。あなたも推理してみて下さい。

56歩　34歩　55歩　同角　46歩　同角
68飛　同角生　58玉　18飛　28銀　同飛成
38金　同龍　迄　14手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
									六
歩	歩	歩	歩			歩	歩	歩	七
	角		角	王		龍			八
香	桂	銀	金				桂	香	九

持駒 なし

橋本孝治　　２位
手順だけでなく、正しい問題文も推理させられた思い出深い作。そういえば、同５温泉町から年間無料入浴券が送られてきませんねぇ。

橋圭伍　　３位
理詰めで解ける処が非常に素晴らしい

高坂研　次点
コメントなし

６位　橘圭伍作　第３回 WFP-F 作品展推２番
Proof Game12 手　2sol

後手：持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
							角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
		歩	歩						六
歩	歩			歩	歩	歩	歩	歩	七
飛			角				飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

①　76 歩　94 歩　77 角　95 歩　同角　92 飛
68 角　97 飛生　66 歩　98 飛生　97 歩
93 歩　迄　12 手

②　76 歩　44 歩　同角　42 飛　77 角　47 飛生
66 歩　48 飛生　47 歩　98 飛生　68 角
43 歩　迄　12 手

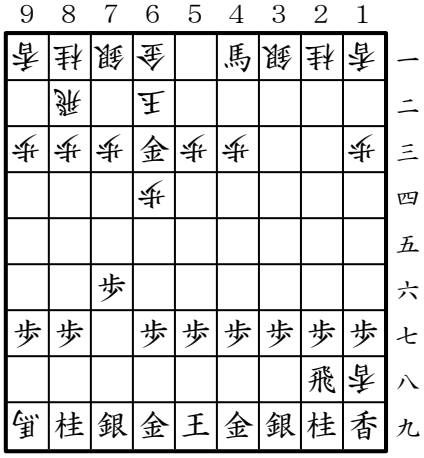
竹野龍騎
２解とも飛が最初に横に動くのが巧く、２解合わせた飛の軌跡が美しい。なにより、このシンプルで爽やかな作を創ったのが橘氏というのが驚き（笑）

６位　橘圭吾作　　詰将棋メモ11-2
「油断大敵？」　９手

K「この間の９手で後手玉が詰んだ将棋、不思議な展開だったね」
H「相手の駒頭に同種の駒とか異種の駒とか打ってた奴っすね！」
K「不成はなかった普通の将棋だったのにねぇ」
H「途中王手もなかったっすね」
K「でも、終局時に先手が駒を２枚も持ってたから、激しい将棋だったんじゃない？」

76 歩 62 玉 33 角成 64 歩 23 馬 99 角成
41 馬 18 香 63 金　迄　９手で詰み

詰上図



持駒 歩2

はらたっと

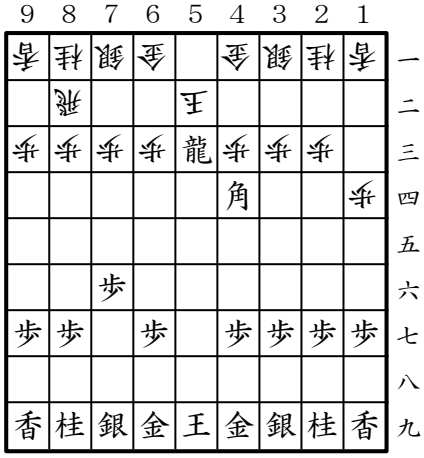
初形からたったの９手詰めでしかも後手は２手余る状態から無駄な手を巧みな条件付けで限定させるというのが素敵でした。この頃推理将棋初心者の私にとっては、「最初なんのことやらさっぱり。」でしたが、時間がたち、自分が推理将棋の作図をする方にたったとき、遊び手の限定がいかに難しいかを再認識させられ、すごさがわかりました。」

６位　はらたっとさん　詰将棋メモ　18-2
「どっちの成りでショー」　９手

「たった９手で詰みましたね」
「最後は同地点にどっちの大駒でも成り込めたんだけど、詰むのは片方だけだった。途中で不成が１回だけあったよ」
「歩頭の大駒の方は詰まないんですね」
「先手は３手連続で同じ駒を動かしたのが勝因だね」

76 歩　14 歩　44 角　13 角　58 飛
57 角生　同飛　52 玉　53 飛成
迄　９手で詰み

詰上図



持駒 角歩

はらたっと

自分のデビュー作品なので、なにかコメントをと思いまして。自陣飛車の活用で、一直線の答え。カンタンだろう。と思って投稿したところ、一部回答者から「紛れが強烈でマイッタ」とお褒めの言葉もいただきうれしく思っております。
（＊ポイントは辞退されてます）

ｄｓｋ

「一方の成りでしか詰まなかった」「生一回」　という条件から決定するのがよかったです。

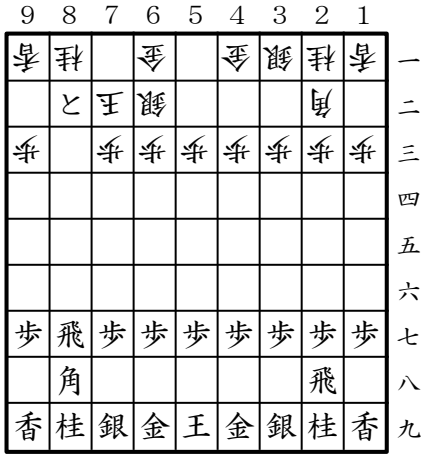
９位　かずひで　詰将棋メモ 9-3
よく見るとちょっと違う　１１手

「昨日、１１手で後手玉が詰んだ将棋を見たよ」
「どんな終わり方したの？」
「詰みの局面で、先手陣（７・８・９段目）は初型から１枚だけ駒が変わっていたんだ」
「どういう意味？」
「例えば、２八の飛車が銀に変わった、というような意味。
　変わったのはその１枚だけで、無くなったり増えたりした駒はなかったよ」
「へえ。手順は覚えてる？」
「後手が２手連続で玉を動かしてたよ」

さて、どんな将棋だったでしょうか？推理してください。

86 歩　84 歩　85 歩　83 飛　84 歩

62 玉　83 歩生　72 玉　87 飛　62 銀
82 歩成　まで　11 手で詰み
詰上図

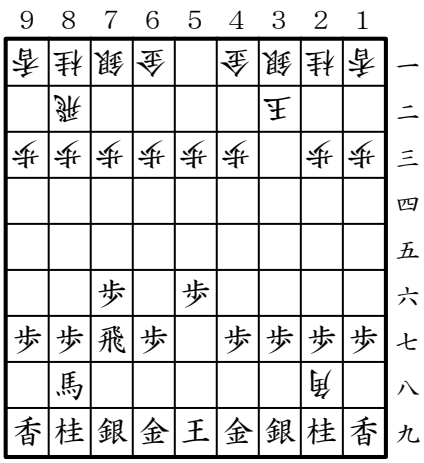


持駒 歩

橘圭伍　　２位
面白い条件です。発想が秀逸

９位　橘圭伍　第１回 WFP-F 作品展推２番
Proof Game　13 手

後手：持駒なし



持駒 歩

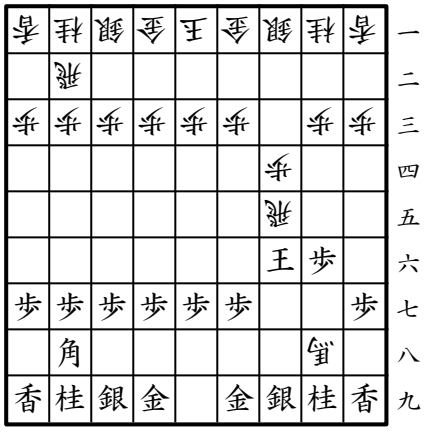
76 歩　42 玉　33 角生　32 玉　88 角成　66 角
56 歩　39 角生　78 飛　77 銀　同飛　28 角生
39 銀　迄 13 手

竹野龍騎　　２位
角侵入の謎解き。解いて楽しく、問題図も整っている。

11位　神無七郎作　第４回詰四会 F 作品展17番
推理将棋10手

「昨日将棋センターで変な将棋を見たよ。」
「どんな将棋？」
「隣の将棋だったんだけど、10手目の飛打で後手が勝ったんだ。」
「へえー、とどめは飛か。でも、どうしてそんなに早く終わったの？」
「初手に歩を突いた以外、先手は同じ駒ばかり４回も動かしていたからね。
　当然の結果だよ。」
さて、どんな将棋だったのでしょうか？

26 歩　34 歩　48 玉　55 角　38 玉
37 角生　27 玉　28 角成　36 玉　35 飛
迄　９手で詰み
詰上図



持駒 なし

高坂研　　３位
分かりやすい条件設定が解図欲をそそる。巧い人は何を作っても巧い。」

11位　まじー　詰将棋メモ　10-3
銀の横の馬　11 手

「隣の将棋はすごかったね」
「１１手で後手玉が詰んでたよ」
「最終手は歩が動く手だったね」
「銀の横に馬が動く手があったよ」
「桂跳ねもあったね」
「不成の手もあったな」

さて、どんな将棋だったのでしょう？

76 歩 42 玉 33 角生 32 玉 88 角成 24 歩

77 桂 23 玉 89 馬 12 玉 66 歩
迄　１１手で詰み
詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
	飛						角	王	二
歩	歩	歩	歩	歩	歩			歩	三
							歩		四
									五
		歩	歩						六
歩	歩	桂		歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	馬	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

たくぼん　　３位
　思いもよらない詰上がり。印象が深い。

11位　花井秀隆作　詰将棋メモ　14-3
**　玉頭の角　１０手**

「さっきの隣の将棋は角が目立っていたね」
「誰だってそう思うよ。なんてったって玉頭の角っていう手が３回も飛び出したんだからね」
「でも、 10 手で終わるなんて意外だったな」
「初手の玉移動があんまりよくなかったかもしれないね」

68 玉 42 玉 76 歩 32 玉 33 角生　同角
78 玉 77 角打 68 銀 88 角成
**　迄　10 手で詰み**
詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
	飛					王			二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	角	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	馬	王	銀				飛		八
香	桂		金		金	銀	桂	香	九

持駒 歩

高坂研　次点
　コメントなし
たくぼん　次点
　ミスディレクションが無ければもっと解きにくかったに違いない。新人らしからぬ完成度。

14 位　魚熊　詰将棋メモ17-1
**　　豆腐将棋（金豆腐）　１１手**

「さっきの将棋はどうなった？」
「 11 手で詰ましたよ」
「どんな将棋だったんだい？」
「７手目に金の頭に歩を打ったのが勝因だと思うな」
「他には？」
「成る手はなかったけど、最終手以外に王手が１回あったよ」

76 歩 44 歩　同角 42 飛 53 角生 47 飛生
42 歩 49 飛生　同玉 52 金左 41 飛
**　迄 11 手で詰み**

詰上図

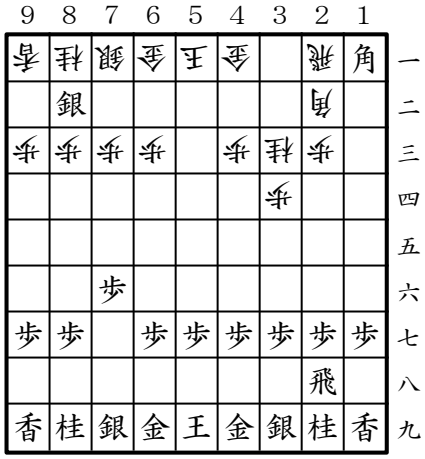
9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	飛	銀	桂	香	一
				金	歩		角		二
歩	歩	歩	歩	角		歩	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩		歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金		王	銀	桂	香	九

持駒 歩

高坂研　次点
　コメントなし

14位　橘圭伍　JEWEL BOX #5-5番
　　プルーフゲーム16手

後手：持駒なし



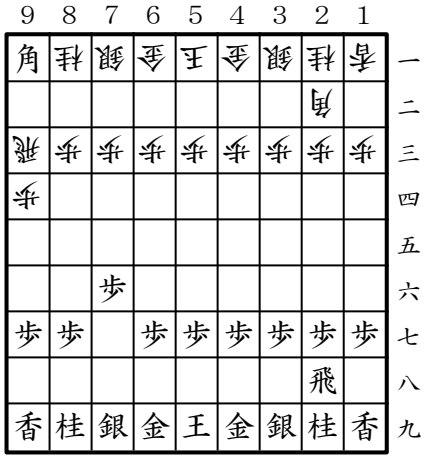
持駒 香歩2

76 歩　34 歩　44 角　33 角　53 角生　24 角
31 角生　33 桂　13 角生　22 飛　82 銀　21 飛
22 角生　13 角　11 角生　22 角　まで　16 手

竹野龍騎　　次点
角のルントラウフ。駒取りで実現している部分は残念だが、作図は大変なはず。」

14位　橘圭伍第２回 WFP-F 作品展推２番
　　Proof Game　11手

後手：持駒　香



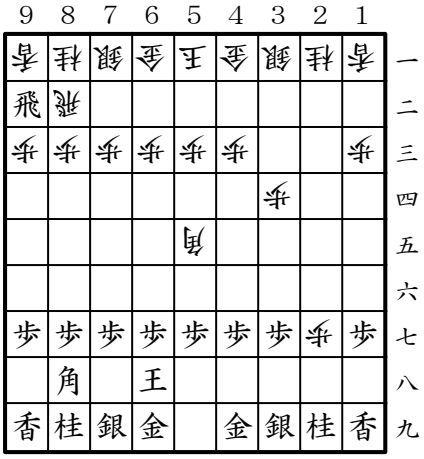
持駒 なし

76 歩　94 歩　66 角　93 香　同角生
92 飛　82 角生　91 飛　93 香　同飛
91 角生　迄 11 手

竹野龍騎
シンプルな飛のテンポ。

14位　橘圭伍　第３回 WFP-F 作品展推４番
　　Proof Game13 手　2sol

後手：持駒なし



持駒 歩

①　26 歩　34 歩　25 歩　55 角　24 歩　同歩
同飛　12 飛　22 飛生　27 歩　92 飛　82 飛
68 玉　迄　13 手
②　26 歩　24 歩　25 歩　同歩　同飛　34 歩
55 飛　同角　58 玉　68 飛　同玉　27 歩
92 飛　迄　13 手

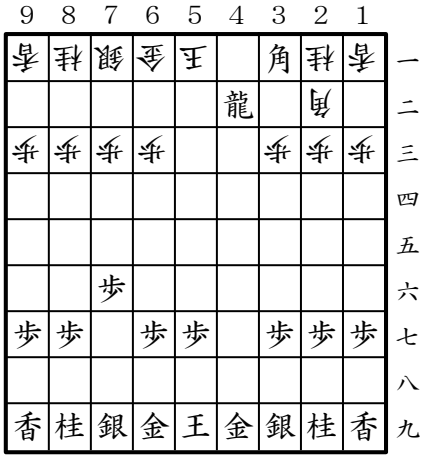
竹野龍騎
進入と駒打の２解が成立しているところを評価。２解の作図は困難ですから…。」

14位　タラパパ　詰将棋メモ　12-3
　　小金持ち　１１手

「１１手で詰ませて、持駒を５枚も貯めこんだって？」
「うん、駒を成る手は最終手だけだったけどね」

76 歩 44 歩　同角 42 飛 53 角生 47 飛生
31 角生 48 飛生　同飛 42 金　同飛成
迄　１１手で詰み

詰上図



持駒 飛金銀歩2

高坂研　次点

コメントなし

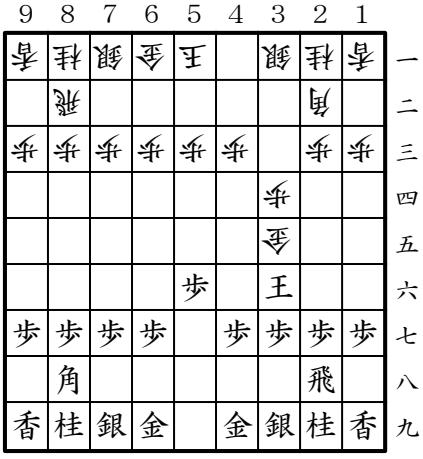
14位　まさ作　詰将棋メモ　9-2
無謀な突撃　１０手

「さっきの将棋はもう終ったの？君と相手がどちらも最初４筋の手を指したところまで見たけど。」
「１０手で負けちゃった。玉が単騎で突撃して行って、５段目で詰まされちゃったよ。」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？
注）４筋の手とは、４６歩や４２銀など、４筋へ駒を動かす手を意味します。

48 玉　42 金　56 歩　34 歩　57 玉
33 金　46 玉　24 金　45 玉　35 金　迄
１０手で詰み

詰上図



持駒 なし

高坂研　次点

コメントなし

【推理将棋・総評】

橋本孝治

推理将棋はあまり解いていなかったので推薦数も少ないですが、深く考えず自分の好みで選びました。推理将棋・ＰＧのマニアが何を選ぶのか興味があります。

高坂研

おもちゃ箱の推理将棋コーナーはパラに匹敵しうる存在だと、バックナンバーを一通り見直して改めて感じました。

はらたっと

解図もしてない作品に投票しても失礼にあたると思われるため、第１１回以降のおもちゃ箱の推理将棋のみで選定いたしました。自分が苦労して解けた作品がやはり印象に残ってます。次回までには自分自身のジャンルの幅を広げたいと思っております。

橘圭伍

１位は迷いなし。 PG 発表作品の中ではこれがトップでしょう。推理将棋と PG を同列で判断するのは意外に難しいですねぇ・・・

たくぼん

候補作を並べてみて、好作が多いというのが第一感です。悩んだ作品ほど印象に残っていますね。推理将棋はまだまだこれからの分野ですがこの先どんな作品が現れるのかが凄く楽しみです。
将来的は、詰パラを含めた候補作の中から選べるようになればいいのではないかと思います。

【全体総評】

はらたっと

Fairy Top Ⅸの投票ですが、「推理将棋・プルーフゲーム部門」のみ投票いたします。
（そもそもフェアリー詰将棋には手をつけたことがないので投票しようにも。。。。。今年は挑戦しようと思います。。。。）

酒井博久

候補作をあまり見ていない私に資格があるか疑問なのですが、投票者が少ないらしいので、知っているぶんだけ投票します。

高坂研

残念ながらフェアリーのことはよく分からないので、投票は推理将棋のみにしました。てっきりパラの推理将棋も候補なのかと思ったら、違うんですね。

「やはり去年ので一番いいのは、中村圭吾さんのだよな」とか思いながらリストを見て、「あれ、ない？」とびっくりしてしまいました。

ネット上で発表された作品が対象ということなんですね。

それから、集計されるたくぼんさんも大変でしょうけど、 69 作全部に目を通す方も大変。もう少しゆとりのある日程を組んだらどうでしょうか。（好き勝手なこと言ってスミマセン）

竹野龍騎

個人的には、 WFP の４コマ漫画に 10 点！（笑）

橘圭伍

今期は中編・長編の当り年だったと思います。その為か、短編部門が少し低調だったかなぁと言う感じがしました。でも、流石に１年分を吟味するのは骨が折れます・・・

担当者より

投票期間につきましては来年はもう少し延ばしたほうがいいのかや、投票方法につきましては TETSU さんのところの年賀詰投票のようにネットのフォームから出来るようにするとか・・・来年までに検討したいと思います。ともあれ、投票いただきました方々、コメントを頂きました受賞者の方々ありがとうございました。

作 品 募 集 締 切 一 覧

2009 年 4 月 15 日（ 日 ）

Fairy of the Forest #19

課題：最終手「香」

「最終手＝香」というのは協力詰にはあまりそぐわない課題かも知れませんが、作家の皆さんの腕の見せ所。

多数のご投稿をお待ち申し上げます。

宛先→酒井博久（ sakai8kyuu@hotmail.com ）

解 答 募 集 締 切 一 覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2 月 20 日（ 火 ） 済

詰将棋メモ　推理将棋第19回出題
＊推理将棋３題

3 月 7 日（ 土 ）

Onsite Fairy Mate　144 回出題
＊Isardam 協力自王詰　1 題

3 月 15 日（ 日 ）

第７回WFPフェアリー作品展

あ と が き

ここ最近は、フェアリー詰将棋の解答者が増えないという状況が続いている。今回の Fairy Top Ⅸの投票も同様に最後の最後まで投票が集まらず担当者としても存続が危ぶまれるほどの危機感を感じることとなった。

「実際解いていないから」「全部を見ていない」というものが主な理由だと思う。それも一理ある。○○賞選考委員といった立場であれば、その位の自覚は必要であろうが、１位になっても何も貰えない名誉だけの Fairy Top Ⅸですのでもっと気楽に楽しんで投票して貰いたいと思うのです。　たくぼん

2008 年　第８号

Web Fairy Paradise

非売品
平成二十一年二月号
平成二十一年二月廿日発行

発行所　愛媛県新居浜市
発行兼編集人　須川卓二
発行所　Web Fairy Paradise 編集部
問合先
須川卓二　takuji@dokidoki.ne.jp